

議案第 22 号

令和 7 年度教育行政重点施策の策定について

このことについて、別紙のとおり議決を求める。

令和 7 年 4 月 3 日提出

倉敷市教育委員会

教育長 仁 科 康

令和7年度

教育行政重点施策

倉敷市教育委員会

目 次

令和 7 年度教育行政重点施策について	1
---------------------	---

基本目標・重点的に取り組む事業

基本目標Ⅰ（子どもの教育） 思いやりの心をもち、自分らしく、たくましく生き抜く力を育成する	2
基本目標Ⅱ（生涯学習） 夢と生きがいをもち、学び続けることができる社会を実現する	11
基本目標Ⅲ（地方創生・協働） ふるさと倉敷を誇りに思い、倉敷の未来を担っていく力を育成する	14

令和 7 年度教育行政主要事業について	17
---------------------	----

基本施策・個別施策・主要事業

① 人間尊重の精神を基盤とする人権教育を総合的に推進し、 多様な価値観や生き方を認め合い、人権が守られる社会をつくる	18
② 全ての子どもが心も身体も健やかに成長できる学びの場をつくる	20
③ 学校教育の充実を図る	22
④ 時代の進展に対応した教育を積極的に取り入れる	24
⑤ 子どもの健康づくりを支援する	25
⑥ 就学前教育の充実を図る	27
⑦ 障がいのある子どもが、適切な教育や保育が受けられる体制を整える	28
⑧ 子どもたちが緑や生き物などの自然にふれながら、学べる機会を提供する	29
⑨ 一人一人が生涯を通して行う学びを支援するとともに、 その学びによる地域の活性化を推進する	30
⑩ 安心して子育てできる環境を整える	33
⑪ 学校、地域、家庭が連携し、地域全体で子どもたちを育む環境を整える	34
⑫ 文化芸術活動を振興する	36
⑬ 歴史文化や伝統の保存・継承と活用を図る	37
⑭ 歴史的・魅力的な景観の形成を推進し、受け継いでいく	38

施策体系	39
------	----

参考資料 各基本施策の評価指標 実績値の推移	41
------------------------	----

令和 7 年度教育行政 重点施策

令和 7 年度教育行政重点施策について

本市は、令和 3 年 3 月に改訂した倉敷市教育大綱、倉敷市教育振興基本計画に基づいて教育行政を進めます。その中で、現在の社会状況やこれまでの取組の状況を踏まえ、今年度、特に力を入れて取り組むべき施策について、倉敷市教育振興基本計画の 3 つの基本目標ごとに「重点的に取り組む事業」を設定し、進めてまいります。

倉敷市教育大綱

～ 基本理念 ～

「“From Kurashiki” が誇りとなるひとづくり」

- I am from Kurashiki. 「“倉敷のひと” であることを誇りに思うひとに」
- This is from Kurashiki. 「“倉敷らしさ” を誇りに思うひとに」
- From Kurashiki to the world 「“倉敷のよさ” を世界へ発信できるひとに」

～ 基本理念を実現するための基本方針 ～

- 思いやりの心もち、自分らしく、たくましく生き抜く力を育成する
- 夢と生きがいもち、学び続けることができる社会を実現する
- ふるさと倉敷を誇りに思い、倉敷の未来を担っていく力を育成する

倉敷市教育振興基本計画

倉敷市教育振興基本計画は、社会情勢等を踏まえながら、中期的かつ総合的な展望をもち、教育行政を計画的・体系的に進めるため、本市の最上位計画である倉敷市七次総合計画との整合性を図りながら策定しています。

さらに、倉敷市教育大綱に掲げる上記の基本方針を、3 つの基本目標として設定し、倉敷市教育大綱の基本理念の実現に向け計画を推進します。

基本目標Ⅰ 思いやりの心を持ち、自分らしく、たくましく (子どもの教育) 生き抜く力を育成する

平成30年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症など予測困難な事象が生じている現代社会においては、一人一人がお互いの違いや良さを認め合い、相手への思いやりの心をもつとともに、自らで考え行動する力を身につける必要があります。

また、今後、Society5.0など新たな社会を迎える中で、これからの社会に対応していく力も必要です。

このため、これからの社会を生きていくすべての子どもたちが自分らしい強みと自信を持ち、基礎的・基本的な学力や知識を身に付け、様々な体験や活動を通して自ら考え、行動し、たくましく生き抜くことができる力を伸ばす教育を推進します。

重点的に取り組む事業

1

学校園人権教育推進事業

全ての学校園の教職員を対象に、様々な人権問題についての理解と認識を深めるとともに、日々の教育活動を通して人権教育の具体的な研究・実践を進めることで、一人一人を大切にする人権尊重の視点に立った学校園づくりを推進し、子どもたちが落ち着いて学べる環境を整える。

【再掲：①－2】

(事業費：6,800千円 担当課：人権教育推進室・指導課)



倉敷市人権教育研究大会

2

学力向上支援事業

学習内容の理解を深めるため、児童生徒の状況に応じた学習支援や個別指導を行う学習支援員（小・中学校43人）を配置する。また、児童生徒の状況に応じた問題を提供する学習支援ソフトを活用する。

【再掲：③－1】

(事業費：25,020千円 担当課：指導課)



支援員による学習支援

3

基礎・基本定着事業

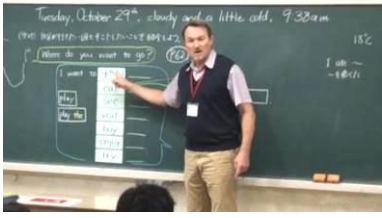
ICTの活用等による基礎・基本の習得及び授業改善による学力の向上を図るための学校の取組を支援するために外部講師を学校に派遣する。また、学校の継続的な取組の成果等を市内の学校へ発信する。

【再掲：③－1】

(事業費：168千円 担当課：指導課)



A I型デジタルドリルの活用

4	研究指定事業 当面する教育上の諸問題の解決を目指して、研究の深化・充実を図り、本市教育の進展に資することを目的とし指定校を設定する。研究成果は、紀要の作成及び、配付や発表会により、他の校園に広く公表する。 【再掲：③－２】 (事業費：510 千円 担当課：指導課)	 「1人1台端末の活用」の研究授業
5	放課後学習サポート事業 放課後・土曜日・長期休業中に学習支援を行う支援員（小学校73人、中学校27人）を配置する。 【再掲：③－１】 (事業費：3,729 千円 担当課：指導課)	 放課後の学習支援
6	英語教育推進事業 生きた英語指導を行うため、外国人英語講師25人を配置する。また、小学校5・6年生の全員が個人で利用できる英語学習ソフトを導入する。 【再掲：④－１】 (事業費：158,628 千円 担当課：指導課)	 外国人英語講師による授業

<令和6年度の取組>

○玉島東中学校の研究発表

研究主題「自ら学び、豊かに表現し、意欲的に活動できる生徒の育成

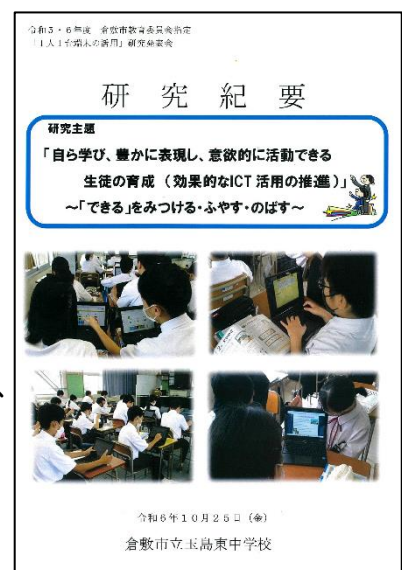
(効果的なICT活用の推進)～『できる』をみつける・ふやす・のびす～

令和5・6年の2年にわたり、倉敷市教育委員会の研究指定校として、研究実践に取り組む。生徒が主体的に1人1台端末を活用できるよう、大学教授を講師に招き、教職員を対象に校内研修等を定期的実施して、授業改善のための公開授業を繰り返しながら、研究を進めてきた。

令和6年10月25日に、研究発表会を実施。1年生は国語、2年生は数学、3年生は理科の授業を公開した。

研究の成果として、生徒からは「多くの資料をすぐに友達や先生と共有できる」などの意見があり、1人1台端末の有効性を実感し、主体的な学習に取り組む姿が見られた。

また、教員からは「どの場面で1人1台端末を活用すれば学習効果が発揮され、生徒の学力向上につながるかという視点で授業を考えるようになった」などの意見があり、教員の1人1台端末の活用に対する意識の変化も見られ、指導力の向上にもつながった。



7	キャリア教育推進事業 地元企業の協力を得ながら地域における職場体験活動（倉敷チャレンジ・ワーク14）を通して、生徒の望ましい職業観や勤労観を育て、自己の生き方を考え、様々な課題を乗り越えながら学習や生活にチャレンジすることができるように支援し、学校におけるキャリア教育を推進する。 【再掲：③－1】 （事業費：2,317千円 担当課：指導課）	 職場体験（チャレンジ・ワーク）
8	学校防災教育推進事業 小・中学生が「我が事意識」をもって防災学習を行うことにより、災害時に自ら安全確保を図れるよう取り組む。また、中学生は自助に加えて共助についての学習を進め、家庭や地域の力となることができるよう指導の充実に努める。 【再掲：③－3】 （事業費：3,513千円 担当課：保健体育課）	 幼小中学生合同の避難訓練
9	【新規】1人1台端末を活用した「心の健康観察」事業 児童生徒の心の変化やSOSを早期に把握し、適切に対応すること及び学校の教育相談体制の充実等を目的とし、小・中・特別支援学校にて、1人1台端末を活用した「心の健康観察」を実施する。 【再掲：②－2】 （担当課：人権教育推進室・指導課・教育ICT推進課）	 児童が入力している様子
10	【拡大】学校問題支援プロジェクト事業 推進会議やケース会議の開催、支援スタッフの配置等により、児童生徒の学校生活への不応適等に適切に対応し、それらに起因する不登校やいじめなどの諸課題、保護者等とのよりよい関係づくりの方法等について、学校への効果的かつ機能的な援助を行う。令和7年度は、支援スタッフを1名増員し、15名配置する。 【再掲：②－3】 （事業費：19,313千円 担当課：指導課）	 支援スタッフによる支援

11	スクールカウンセラー等配置事業 いじめ、不登校をはじめとする児童生徒の学校不適応問題に対応するため、国のスクールカウンセラーが配置されていない小学校及び4 高等学校、1 特別支援学校、5 適応指導教室に単市予算でスクールカウンセラーを派遣する。また、生徒支援コーディネーター、不登校支援員、教員等に専門的な見地から指導・助言するスーパーバイザーを1 人委嘱し、不登校対策や教育相談の質的な充実を図る。 【再掲：②－2】 (事業費：16,273 千円 担当課：指導課)	 中学校のカウンセリングルーム
12	【拡大】不登校児童生徒支援員等配置事業 小学校・中学校の不登校対策のため、非常勤講師（17 人）や、不登校児童生徒支援員（96 人）を配置する。令和7 年度は、非常勤講師及び支援員をそれぞれ1 名ずつ増員する。 【再掲：②－2】 (事業費：89,229 千円 担当課：学事課・指導課)	 児童に寄り添う不登校児童支援員
13	【拡大】自立応援室支援員配置事業 教室に入りづらい児童生徒が、いつでも自立応援室（教室以外の別室）を利用することができるよう、常駐する支援員を小中学校に合わせて6 人配置する。また、令和7 年度から、計15 校の自立応援室と児童生徒の自宅をつなぎ、オンライン支援を行う。 【再掲：②－2】 (事業費：8,120 千円 担当課：指導課)	 自立応援室での個別支援

＜令和6 年度の取組＞

○児童・生徒が主体となった学校での取組（倉敷こどもミーティングの発表から）

テーマ「防災意識を高めるために、自分たちにできることを考えよう」

【豊洲小学校】

5 年生で地域の防災について学んだが、災害への備えや意識には個人差が大きいことがわかった。そのため、防災意識を高める方法考えた。

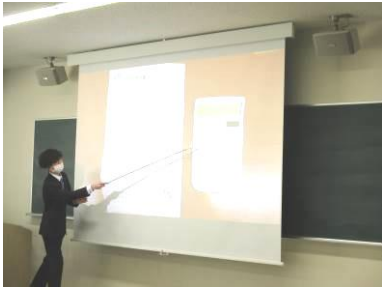
- ・「防災フェスタ」で、地域に向けて、オリジナル防災キャラクターを作り、危険な場所を知らせたり、おすすめの防災グッズを紹介したりする。
- ・災害の特徴をクイズ形式で考えられるようにする。

【玉島北中学校】

学校内での防災への意識が低いため、いつ起こるかわからない災害に備える方法考えた。

- ・校内防災週間を設定し、防災にかかわる取組を行う。
- ⇒①生徒が自ら判断して避難できるよう、生徒会が主催する避難訓練を行う。
- ②災害が起きた時に備え、身の回りの場所を掃除するボランティアを募る。



14	ふれあい教室事業 市内5か所に「ふれあい教室」を設置し、教育指導員を16人配置して、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立に向けた指導・支援を行う。また、オンライン対応の教育指導員を3人配置して、外出が難しい児童生徒を対象に1人1台端末を活用した指導・支援を行う。 【再掲：②－2】 （事業費：92,710千円 担当課：教育センター）	 教育指導員によるオンライン指導
15	【拡大】通級指導推進事業 通級指導（幼児指導教室）の充実のために必要な非常勤講師等を配置し、特別支援教育の充実を図る。令和7年度は、小学校に1名増員する。 ・幼稚園8人 小学校13人 中学校1人 【再掲：⑦－1】 （事業費：68,879千円 担当課：学事課・指導課・教育企画総務課）	 通級指導教室での指導
16	特別支援教育大学連携事業 特別支援教育を専攻する学生の市内特別支援学級等への人的支援（ボランティア）、特別支援教育に携わる教員を目指す学生の資質向上、小中学校・大学の双方にとって有益な事業を実施する。 【再掲：⑦－2】 （事業費：58千円 担当課：指導課）	 学生によるボランティアの報告会
17	小1グッドスタート事業 小学校第1学年において、児童数が30人以上の学級が1学級でもあれば、1年生すべての学級に対して学習面や生活面をサポートする支援員を配置して「小1プロブレム」への対応を図り、小学校生活のスタートの1年間は、心豊かで充実した成長の場となるようにする。 4月～10月（20週）は県の補助事業 11月～3月（18週）は単市による配置 【再掲：②－3】 （事業費：118,534千円 担当課：学事課）	 支援員による小学1年生への学習支援

18	学校・園生活支援員配置事業 障がいのある幼児、児童生徒の教育活動の充実を図るため、学校・園に生活支援員を配置する。 (幼稚園30人・小学校129人・中学校28人・ 高等学校6人・特別支援学校10人) 【再掲：⑦－1】 (事業費：249,706千円 担当課：学事課)	 生活支援員による個別支援
19	非常勤講師等単市加配事業 教科指導の充実等のため、非常勤講師等を配置する。 (小学校2人、中学校23人、高等学校77人、 特別支援学校6人) 【再掲：②－3】 (事業費：133,301千円 担当課：学事課)	 非常勤講師による授業
20	教師業務アシスタント配置事業 教師の事務作業等を補助する教師業務アシスタント（小学校60人、中学校26人）を配置する。 【再掲：③－2】 (事業費：101,993千円 担当課：学事課)	 教師業務アシスタントによる 事務作業補助
21	学校園支援ボランティア活用事業 学力向上支援や生徒指導上の問題、特別な支援が必要な児童生徒の支援などを中心に、学校の教育活動を支援するボランティアを学生や市民等から募集・登録し、学校のニーズとマッチングして学校にボランティアを派遣し学校園を支援する。 【再掲：③－1】 (事業費：251千円 担当課：指導課)	 学生ボランティアによる学習支援
22	採点支援システム運用事業 児童生徒に対する指導の充実を図り、教員の指導力向上につなげるため、採点支援システムを継続的に導入する。 【再掲：④－1】 (事業費：3,498千円 担当課：指導課)	 採点支援システムの活用

23	【拡大】部活動指導体制整備事業 部活動を指導する教員の負担を軽減するとともに、技術指導力の補完による部活動の質的な向上を図るため、専門的な知識や技能を有する指導員を配置する。部活動の地域移行に備え、指導員を増員する。 【再掲：⑤－１】 （事業費：31,559 千円 担当課：保健体育課）	 部活動指導員による指導
24	公立幼稚園預かり保育・３歳児保育実施事業 待機児童対策として、市立幼稚園において３歳児保育を３４園で実施するとともに、保護者が就労している場合に保育時間を延長する預かり保育を２６園で実施する。 【再掲：⑥－１】 （事業費：313,694 千円 担当課：学事課）	 幼稚園での３歳児保育
25	学校給食運営事業 子育て世帯の負担軽減を図るために、小中学校の給食費の令和７年度の１か月分を支援する。 安全かつ安心な学校給食の推進を図るため、調理場の施設や備品の修繕及び衛生管理に努める。 【再掲：⑤－２】（※２月補正予算前倒し計上：280,810 千円 担当課：保健体育課）	 給食費の支援
26	高梁川流域学校給食アレルギー対応等献立レシピ研究事業 高梁川流域圏の市町において、学校給食アレルギー対応献立レシピ集の紹介と広く市民にアレルギー対応についての理解を深めるため、圏域内でアレルギーフリーのバイキングや親子料理教室を行う。 【再掲：⑤－２】 （事業費：204 千円 担当課：倉敷中央学校給食共同調理場）	 クリスマスバイキング
27	新共同調理場整備事業 「倉敷市学校給食調理場整備に係る基本方針」に基づき、（仮称）児島学校給食共同調理場の整備を進めるとともに、玉島地区に設置を予定する新共同調理場について事業者選定を行う。 【再掲：⑤－２】 （事業費：49,889 千円 担当課：保健体育課）	 児島学校給食共同調理場 イメージ図

28	児島学校給食共同調理場整備運営事業 海技大学校跡地に、児島地区の自校方式調理場を集約した新共同調理場を整備し、中学校5校、小学校9校へ給食を提供する。 【再掲：⑤－2】 (事業費：1,198,058千円 ※2月補正予算前倒し計上：446,785千円 担当課：倉敷中央学校給食共同調理場)	 共同調理場内観 イメージ図
29	教育用コンピュータ整備事業 小・中・高・特別支援学校に整備したコンピュータ等のICT機器を計画的に更新し、子どもたちの情報活用能力の育成と情報通信技術を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を図る。 【再掲：④－1】 (事業費：307,160千円 担当課：教育ICT推進課)	 教育用コンピュータを活用した授業
30	GIGAスクール構想に対応したパソコン等整備事業 GIGAスクール構想の実現に向けた情報機器の運用管理と活用推進を行う。令和7年度は、令和2年度に整備した1人1台端末の更新を行う。 【再掲：④－1】 (事業費：163,169千円 担当課：教育ICT推進課)	 1人1台端末を活用した意見交流
31	学校園施設安全対策・防災機能強化事業 学校園の外壁改修及び屋上防水を行うことにより、避難所としての機能強化及び教育環境の改善を図る。 【再掲：③－4】 (※2月補正予算前倒し計上：2,490,271千円 担当課：教育施設課)	 外壁改修・屋上防水改修
32	【新規】屋内運動場エアコン整備事業 学校の屋内運動場にエアコンを計画的に設置する。令和7年度は小学校7校、中学校2校に設置する。 【再掲：③－4】 (事業費：217,112千円 担当課：教育施設課)	 屋内運動場へのエアコン整備

33	学校トイレ洋式化改修・校舎等照明ＬＥＤ化事業 学校のトイレ洋式化改修及び校舎等照明のＬＥＤ化を行う。 令和７年度は小学校１４校、中学校３校で実施する。 【再掲：③－４】 （※２月補正予算前倒し計上：１,４０９,４２９千円 担当課：教育施設課）	 トイレ洋式化・校舎等照明ＬＥＤ化
34	倉敷市立小・中学校校舎等整備事業 教室不足の解消に向けて、長尾小学校、第二福田小学校 倉敷第一中学校の校舎等を建設する。 ・長尾小学校（令和８年度完成予定） ・第二福田小学校（令和１０年度完成予定） ・倉敷第一中学校（令和１０年度完成予定） 【再掲：③－４】 （事業費：４８９,３７８千円 担当課：教育施設課）	 長尾小学校の校舎
35	義務教育学校施設整備事業 倉敷市立下津井学園の設置に向けて、下津井中学校の改修等を実施する。 対象校：下津井東小学校、下津井西小学校、下津井中学校 （令和８年４月設置予定） 【再掲：③－４】 （事業費：１０６,６４６千円 ※２月補正予算前倒し計上：３９７,１００千円 担当課：教育施設課）	 外壁工事が完了した下津井中学校の校舎

＜義務教育学校の設置について＞

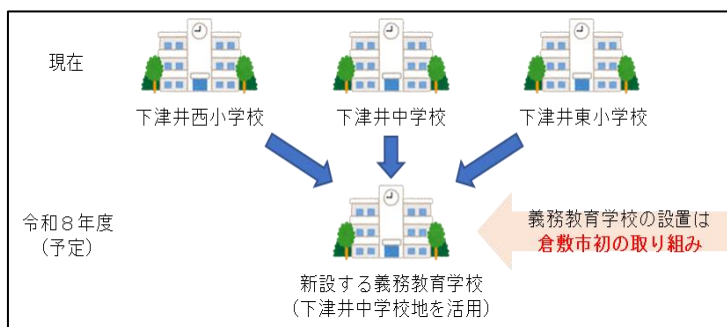
○下津井地区に新設する義務教育学校

下津井東小学校、下津井西小学校
及び下津井中学校からなる**施設一体
型の義務教育学校**を下津井地区に設
置します。

なお、設置場所は現在の下津井中
学校、開校時期は**令和８年４月１日**
を予定しています。

○倉敷市下津井地区義務教育学校開校準備委員会

保護者や地域の方々及び学校関係者等から幅広く意見を
伺いながら準備を円滑に行うため、令和６年４月に「倉敷
市下津井地区義務教育学校開校準備委員会」を設置し、開
校までに決定が必要な事項について検討を進めています。



開校準備委員会

基本目標Ⅱ (生涯学習)

夢と生きがいをもち、学び続けることができる 社会を実現する

学びに終わりはなく、ひとは生涯にわたって学び続けていくものです。人生100年時代の到来が予測される現在、市民一人一人が健康でいきいきと暮らすためには、人生に夢と生きがいを持ち、知識や教養を高め、生活を実り多いものにすることが必要です。

このため、一人一人が何歳になっても、様々な分野で自分自身の可能性を伸ばし、学び直しや新たなことに挑戦するチャンスを大きく広げ、学んだことを生かし、地域がつながり支え合う生涯学習社会の実現をめざします。

重点的に取り組む事業

1

地域還元型講座実施事業（生涯学習活動推進事業）

地域住民や利用者のニーズ・課題の把握に努め、学んだ成果を家庭や地域へ還元できる(活かせる)講座を実施する。

※子育て支援、スマートフォンの使い方等の講座

【再掲：⑨－3】

(事業費：「生涯学習活動推進事業」の事業費に含む)

担当課：市民学習センター)



7か月からの、食べて、
みがいて、遊んじゃおう！

2

地域力向上講座実施事業（生涯学習活動推進事業）

地域課題を把握し、関心の喚起や理解の深化、課題の共有化、問題解決のきっかけづくりにつながる講座を実施するとともに、子どもから高齢者までが集い、地域力向上や持続可能な地域づくりの実現を図る。

※防災・減災や防犯、介護予防、自然環境、交通安全、SDGs等をテーマにした講座

【再掲：⑨－3】

(事業費：「生涯学習活動推進事業」の事業費に含む)

担当課：市民学習センター)



逃げ遅れゼロへ！
VRで学ぶ防災行動心理学

3

高梁川流域学び直し支援事業

高梁川流域圏域の社会参画に困難を抱える若者等を対象に、カウンセリング・学習支援・居場所の提供等の支援を実施する。

【再掲：⑨－1】

(事業費：9,854千円 担当課：生涯学習課)



まなびば ippo (いっぽ) での支援

4	美術館展覧会事業 市民に美術に対する理解や関心を深めてもらうため、倉敷市出身で紙芝居・絵本作家のやべみつのりと彼の息子で芸人や俳優として活躍し、漫画『大家さんと僕』が大ヒットした矢部太郎の作品原画等を展示する「やべみつのりと矢部太郎『ぼくのお父さん』のふるさと・くらしき」など、郷土作家の優れた美術作品や様々なジャンルの作品に触れる機会を提供する。 【再掲：⑫－１】 （事業費：10,879千円 担当課：美術館）	 まると馬場のぼる展
5	高梁川流域自然史博物館展示事業 特別展「岡山の石」を開催し、岡山県の人々の生活に古くから活かされてきた石を展示する。また、高梁川流域の市町と連携して自然観察会を開催する（令和7年度は総社市、笠岡市を予定）。標本展示セット「まちかど博物館」を公共施設等へ貸し出す。 【再掲：⑨－１】 （事業費：975千円 担当課：自然史博物館）	 自然観察会 「高梁川流域自然たんけん」
6	高梁川流域パスポート事業 高梁川流域圏域在住の小学生に、圏域の社会教育施設等が土・日・祝・振替休日・7～8月の平日に無料となるパスポートを配布し、体験活動の場の提供と施設の利用促進を図る。 【再掲：⑨－１】 （事業費：1,154千円 担当課：生涯学習課）	 高梁川流域パスポート
7	大学との連携による学校等支援事業 くらしき作陽大学及び倉敷芸術科学大学との人材交流や、連携協力した地域の魅力発信事業を行うことにより、教員及び学生の資質・能力の向上並びに地域活性化の実現を図る。 【再掲：⑨－４】 （担当課：美術館・自然史博物館）	 展覧会開会式での ウェルカムコンサート
8	高梁川流域図書館相互利用推進事業 高梁川流域圏域の全ての公立図書館で返却ができる搬送システムにより、図書館の利便性向上を図り、相互利用を推進する。 【再掲：⑨－２】 （事業費：1,661千円 担当課：中央図書館）	 利用者カード  利用可能エリア

9	天文王国おかやま事業 「天文王国おかやま」誘客促進協議会（事務局：井原市）に参加し、高梁川流域圏域を中心とした県内の天文関連施設を活用したスタンプラリー等を実施することにより、各施設の利用促進を図る。 【再掲：⑨－２】 （事業費：200 千円 担当課：科学センター）	 天文王国 おかやま Hoshimeguri Mobile Stamp Rally モバイルスタンプラリー スマホを手に壮大な宙を巡る旅へ 星めぐりをしながらスタンプを集める 新感覚のスタンプラリーを体験。 令和6年(2024年) 9月1日(日)～11月30日(土) スタンプラリーのちらし
10	ESCO事業 施設の省エネ改修による光熱水費削減分で、設備更新・維持管理費用を賄うESCO事業を、ライフパーク倉敷・倉敷公民館・玉島図書館で行う。 【再掲：⑨－２】 （事業費：65,969 千円 担当課：中央図書館・市民学習センター）	 ライフパーク倉敷
11	公民館等複合化事業 船穂公民館と船穂憩の家を複合化し、建物や設備等の長寿命化工事を行う。また、真備公民館とまきび荘を複合化し、建物や設備等の改修工事を行う。 【再掲：⑨－２】 （事業費：309,807 千円 担当課：生涯学習施設再編整備室・市民学習センター）	 船穂公民館  真備公民館
12	自然史博物館施設整備事業 自然史博物館をライフパーク倉敷の敷地内に移転し、ライフパーク倉敷と一部複合化する。 【再掲：⑧－１】 （事業費：23,429 千円 担当課：生涯学習施設再編整備室・自然史博物館）	 自然史博物館

<令和6年度の取組>

○美術館展覧会事業

美術館が独自に調査・研究し、地域に根ざしたテーマ性を持って収集した美術品及び資料を公開する展覧会のほか、国内外の優れた美術作品を鑑賞する機会を提供する特別展を行っている。



「大陳列！～見つけよう推し作品～」



「高橋 秀 創造・はるか彼方へ」

基本目標Ⅲ (地方創生・協働)

ふるさと倉敷を誇りに思い、倉敷の未来を 担っていく力を育成する

人口減少に伴う地域社会の縮小が懸念される中、「地方創生」に向けて、地域を担う「人財＝ひと」を地域の中で育成するとともに、日本遺産を始めとした倉敷が誇る特色ある地域資源を活用して、その魅力を国内外へ広く発信し、人々が安心して暮らせるような持続可能なまちにしていく必要があります。

このため、平成28年5月に本市で開催された「G7倉敷教育大臣会合」で採択された「倉敷宣言」の中で推進に取り組むこととしたSDGsの理念を取り入れ、学校、家庭と地域が連携し、家庭や地域の教育力を高め、地域全体で子どもを育てる環境づくりを進めます。

また、郷土の先人、歴史、文化等を学び、郷土への理解、愛着、誇り、そして、将来このまちを担っていく力を育成します。

重点的に取り組む事業

1

郷土くらしきを大切にする心育成プロジェクト事業

○市民憲章を活用した子どもの豊かな心育成

子どもたちが、郷土くらしきを愛し、故郷に親しみ、心豊かに成長できるような取組を、市民憲章に謳われている精神を生かして行う。

(花いっぱい運動・あいさつ運動・地域のクリーン作戦等)

(事業費：67千円 担当課：指導課)



生徒会主体のあいさつ運動

○社会科副読本「みんなのまち くらしき」作成と活用

小学校3・4年生の社会科で、地域教材を取り入れて市独自に作成した副読本を活用し、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う指導を行う。

(事業費：9,245千円 担当課：指導課)



社会科副読本「みんなのまちくらしき」

○倉敷こどもミーティング

生徒自身が身のまわりの問題に気づき、自ら考え、行動しようとする力を育てることに重点を置き、生徒が主体的に問題解決を図っていこうとする能力や態度の育成を目指す。市内26中学校の生徒代表と小学生代表が一堂に会し、「倉敷っ子憲章」に準じた取組やSDGsの視点を取り入れた取組などをテーマに協議する。

(事業費：48千円 担当課：指導課)



倉敷こどもミーティング

【再掲：⑪－１】

2	【拡大】学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）推進事業 学校や地域が抱える課題を解決し、子どもたちの健やかな成長とさらなる質の高い学校教育の実現を図るため、「地域とともにある学校づくり」を目指す学校運営協議会制度の設置校（コミュニティ・スクール）を拡充する。 【再掲：⑪－２】 （担当課：指導課・学事課・生涯学習課・教育企画総務課）  学校運営協議会
3	【拡大】地域学校協働活動推進事業 地域住民が主体となり、学校での学習支援や環境整備などの支援活動を通して子どもたちと触れ合うことで子どもたちの豊かな人間性を養い育むとともに、地域の教育力の向上を図る。 令和６年度８０校から令和７年度は８４校（予定）に拡大して実施する。 国の１／３補助事業 【再掲：⑪－２】 （事業費：６２，６７５千円 担当課：生涯学習課）  ボランティアによる工作教室
4	【拡大】奨学金給付貸付事業 倉敷市の奨学金制度には、卒業後に返還の必要な貸付制度、返還一部免除型貸付制度、返還の必要のない給付制度の３種類があり、経済的に修学が困難な学生の支援を行う。令和７年度は、高校の給付を１５人から２０人に拡大する。 ＜新規募集人数＞ 【貸付】高校９人 大学・短期大学４４人 【返還一部免除型貸付】大学・短期大学１０人 【給付】高校２０人 大学・短期大学２３人 専修学校７人 【再掲：⑩－１】  奨学金の給付貸付
5	楯築遺跡保存整備事業 国指定史跡・日本遺産の構成文化財である楯築遺跡を広く周知するとともに、保存・活用を図る。 令和６年１１月に策定した史跡楯築遺跡保存活用計画に基づく遺跡の保存、整備、活用を実施する。令和７年度は発掘調査及び測量調査に着手する。 【再掲：⑬－１】 （事業費：１，７５０千円 担当課：文化財保護課・埋蔵文化財センター）  楯築遺跡

6	歴史民俗資料館整備事業 市庁舎等再編整備事業で整備する複合施設棟と一体的な活用を目指し、長寿命化等の整備を実施する。令和7年度は耐震診断を行う。 工期：令和7年度～令和10年度 【再掲：⑬－1】 （事業費：7,500千円 担当課：生涯学習施設再編整備室）	
7	伝統的建造物群保存事業・伝統美観地区修景事業・町並み保存事業 伝統的建造物群保存地区、伝統美観地区及び町並み保存地区内にある建物の修理修景費の一部を助成する。 【再掲：⑭－1】 （事業費：46,028千円 担当課：文化財保護課）	

＜令和6年度の取組＞

○倉敷こどもミーティング（令和6年12月実施）

倉敷市では、平成26年度から「自分たちの周りで起きている困ったことは、自分たちの手で解決していこう」という趣旨のもと、「倉敷こどもミーティング」を開催し、市内の小学生・中学生による活発な議論が行われている。

こどもミーティングのテーマを各学校に募集したところ、防災や環境問題等、様々な案が上がった。本年度は南海トラフ臨時情報が発表されたこともあり、令和6年度のテーマを「防災意識を高めるために、自分たちにできることを考えよう」に設定し、話し合いを実施した。

（当日の意見）

- ・災害を自分事としてとらえていない ⇒ 災害について知る機会を増やす
- ・避難訓練に本気で取り組んでいない ⇒ 抜き打ちで実施するなど、方法を検討する
- ・生徒会が中心となり、告知無しの避難訓練の実施や災害の怖さについて伝える機会をつくる

当日の話し合いだけで終わらせるのではなく、話し合った内容を各学校に持ち帰り、学校全体の取組に広げている。

○地域学校協働活動推進事業

地域全体で学校教育を支援する体制づくりを促進し、地域住民による学習支援・環境整備・学校行事の支援・登下校の安全確保などの活動を地域全体で支援することにより、子どもたちの社会性・自主性・想像性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域の大人が子どもたちとふれあう時間を確保し、住民等の学習成果の活用機会の充実及び地域の教育力の活性化を図る。

実際の活動

- ・放課後学習支援
- ・地域ゆかりの大型かるた（昔遊び体験）
- ・親子料理教室
- ・環境整備（芝生・植木等の草とり）
- ・囲碁将棋教室
- ・工作教室
- ・読み聞かせ
- ・農業体験
- 等



令和 7 年度教育行政

主要事業

令和 7 年度教育行政主要事業について

倉敷市教育大綱に掲げた基本理念の実現に向け、倉敷市教育振興基本計画に基づき、令和 7 年度に教育委員会が実施する主要事業について、次ページ以降に示します。

なお、重点事業及び主要事業については、翌年度、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づく点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともにホームページ等により公表いたします。

基本施策一覧

- 基本施策① 人権尊重の精神を基盤とする人権教育を総合的に推進し、多様な価値観や生き方を認め合い、人権が守られる社会をつくる
- 基本施策② 全ての子どもが心も身体も健やかに成長できる学びの場をつくる
- 基本施策③ 学校教育の充実を図る
- 基本施策④ 時代の進展に対応した教育を積極的に取り入れる
- 基本施策⑤ 子どもの健康づくりを支援する
- 基本施策⑥ 就学前教育の充実を図る
- 基本施策⑦ 障がいのある子どもが、適切な教育や保育が受けられる体制を整える
- 基本施策⑧ 子どもたちが緑や生き物などの自然にふれながら、学べる機会を提供する
- 基本施策⑨ 一人一人が生涯を通して行う学びを支援するとともに、その学びによる地域の活性化を推進する
- 基本施策⑩ 安心して子育てできる環境を整える
- 基本施策⑪ 学校、地域、家庭が連携し、地域全体で子どもたちを育む環境を整える
- 基本施策⑫ 文化芸術活動を振興する
- 基本施策⑬ 歴史文化や伝統の保存・継承と活用を図る
- 基本施策⑭ 歴史的・魅力的な景観の形成を推進し、受け継いでいく

基本施策・個別施策・主要事業

基本施策① 人間尊重の精神を基盤とする人権教育を総合的に推進し、多様な価値観や生き方を認め合い、人権が守られる社会をつくる

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思う人の割合	57.4%	55.0%	60.0%

施策①ー1 人権教育の総合的な推進



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
人権教育資料作成事業	人権教育に関する資料を作成して、その活用を図る。(研修用資料「みんなのしあわせのために」ほか)	1,784	人権教育推進室
人権問題意識調査事業	市民の人権問題についての意識を把握することにより、すべての市民の人権が尊重され、差別のない明るい社会をつくるための基礎資料を得る。	1,986	人権教育推進室

施策①ー2 学校園における人権教育の推進



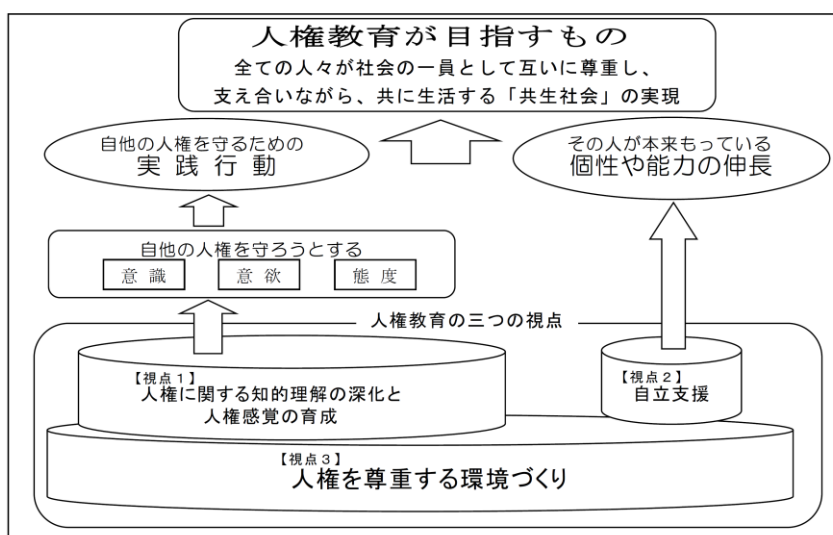
事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
人権教育外部講師活用事業	児童生徒を対象にした人権学習において、外部講師を積極的に活用し、人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成を図る。	291	人権教育推進室
学校園人権教育推進事業 【再掲：重点Ⅰ】	全ての学校園の教職員を対象に、様々な人権問題についての理解と認識を深めるとともに、日々の教育活動を通して人権教育の具体的な研究・実践を進めることで、一人一人を大切にする人権尊重の視点に立った学校園づくりを推進し、子どもたちが落ち着いて学べる環境を整える。	6,800	人権教育推進室 指導課
人権教育現地研修事業	教職員が同和問題、平和問題、ハンセン病問題に関わりの深い場所を訪れ、施設の見学や当事者との交流等を通して各人権課題についての理解と認識を深めるとともに、人権を尊重し、人権問題を解決していくとする意識・意欲を高める。	449	人権教育推進室
学校園人権教育研修事業	管理職や人権教育担当者等の教職員を対象とした人権教育研修会を開催し、様々な人権問題についての理解と認識を深め、各学校園の人権教育の推進と充実を図る。	61	人権教育推進室
学校園人権教育課題研究事業	学校教育に関わりの深い人権課題等について、人権教育課題研究委員会を中心に指導の内容や方法について実践的な研究を進め、その成果を各学校園の人権教育の充実に生かす。 令和7年度研究テーマ 「共生社会の実現をめざして～外国人に関する学習を通して～」	626	人権教育推進室 指導課

施策①ー3 家庭・地域社会における人権教育の推進



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
PTA人権教育推進事業	子どもの人権感覚を育成するための保護者の役割や様々な人権問題についての理解と認識を深めることを目的に、講演会や研修用資料の配布などを実施し、人権が尊重された社会の基盤となる家庭教育の充実を図る。	1,241	人権教育推進室
人権学習推進事業	各中学校区ごとに人権学習推進委員会を設置し、研修活動やふれあい・交流活動、広報・啓発活動などを通して人権尊重のまちづくりを進める。	11,400	市民学習センター 人権教育推進室
人権ポスター募集事業	児童生徒から人権に関するポスターを募集し、児童生徒の人権意識の高揚を図るとともに、そのポスターを活用して市民への啓発活動を進める。	159	人権教育推進室

○人権教育の推進



人権教育推進のイメージ図



人権教育実践資料



人権学習推進事業
(会長連絡会)



人権ポスター表彰式

基本施策② 全ての子どもが心も身体も健やかに成長できる学びの場をつくる

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
1,000人当たりのいじめの認知件数	小学校51.5件 中学校50.7件	小学校 66件 中学校 30件	小学校111件 中学校 40件
不登校出現率	小学校1.70% 中学校5.36%	小学校0.45% 中学校2.25%	小学校0.25% 中学校2.00%
困った時、悩みがある時に相談する人がいると答えた子どもの割合	90.1%	96.0%	97.0%
情報モラルに関する授業・指導ができる教員の割合	92.5%	90.0%	95.0%

施策②-1 豊かな情操と道德心の育成



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
総合舞台芸術鑑賞事業	劇団四季の「こころの劇場」プロジェクトとして上演される舞台芸術を鑑賞する機会を通して、豊かな情操の涵養を目指すとともに公共の場でのマナーの育成を図る。対象は市内の小学6年生。	6,771	指導課
情報モラル教材整備事業 【教育用コンピュータ整備事業】	教師が日常的にICTを活用した授業を行い、学習指導要領で示された児童生徒の情報活用能力と確かな学力の向上や情報モラルの育成を図るために、教育効果の高いデジタル教材を整備し、利活用ができるように支援を行う。 教職員向けの研修や保護者向けの情報モラルコンテンツの公開を行うなど、デジタル教材の活用ができるよう、利活用の支援を継続して実施する。 (予算額は、「教育用コンピュータ整備事業」の予算額に含む)	—	教育ICT推進課

施策②-2 心の育成につなげる支援の充実



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
【新規】1人1台端末を活用した「心の健康観察」事業	児童生徒の心の変化やSOSを早期に把握し、適切に対応すること及び学校の教育相談体制の充実等を目的とし、小・中・特別支援学校にて、1人1台端末を活用した「心の健康観察」を実施する。	—	人権教育推進室 指導課 教育ICT推進課
スクールカウンセラー等配置事業 【再掲:重点Ⅰ】	いじめ、不登校をはじめとする児童生徒の学校不適応問題に対応するため、国のスクールカウンセラーが配置されていない小学校及び4高等学校、1特別支援学校、5適応指導教室に単市予算でスクールカウンセラーを派遣する。また、生徒支援コーディネーター、不登校支援員、教員等に専門的な見地から指導助言するスーパーバイザーを1人委嘱し、不登校対策や教育相談の質的な充実を図る。	16,273	指導課
【拡大】不登校児童・生徒支援員等配置事業 【再掲:重点Ⅰ】	小学校・中学校の不登校対策のため、非常勤講師(17名)や、不登校児童・生徒支援員(96名)を配置する。令和7年度は、非常勤講師及び支援員をそれぞれ1名ずつ増員する。	89,229	学事課 指導課

【拡大】自立応援室支援員配置事業 【再掲：重点Ⅰ】	従来の支援員の配置に加え、教室に入りづらい児童生徒が、いつでも自立応援室（教室以外の別室）を利用することができるよう、常駐する支援員を小中学校に合わせて6人配置する。また、令和7年度から、計15校の自立応援室と児童生徒の自宅をつなぎ、オンライン支援を行う。	8,120	指導課
ふれあい教室事業 【再掲：重点Ⅰ】	市内5か所に「ふれあい教室」を設置し、教育指導員を16人配置して、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立に向けた指導・支援を行う。また、オンライン対応の教育指導員を3人配置して、外出が難しい児童生徒を対象に1人1台端末を活用した指導・支援を行う。	92,710	教育センター 指導課

施策②ー3 学校園における校種間連携と諸課題の解決

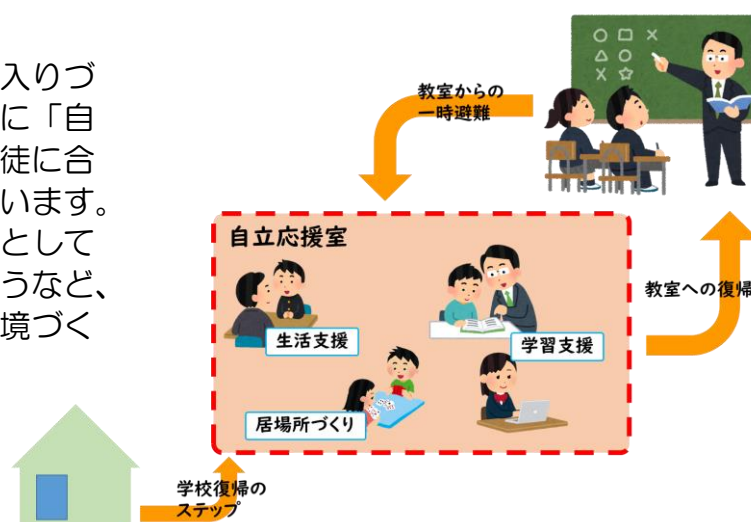


事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
非常勤講師等単 市加配事業 【再掲：重点Ⅰ】	教科指導や生徒指導、特別支援教育等の充実を図るため、非常勤講師等を配置する。（小学校2人・中学校23人・高等学校77人・特別支援学校6人）	133,301	学事課
生徒指導支援員 配置事業	いじめなどの問題行動の未然防止を図るため、校内の巡回や生徒指導について教員、保護者への支援を行う支援員を配置する。	6,060	指導課
【拡大】学校問題 支援プロジェクト事 業 【再掲：重点Ⅰ】	推進会議やケース会議の開催、支援スタッフの配置等により、児童生徒の学校生活への不適応等に適切に対応し、それらに起因する不登校やいじめなどの諸課題、保護者等とのよりよい関係づくりの方法等について、学校への効果的かつ機能的な援助を行う。令和7年度は、支援スタッフを1名増員し、15名配置する。	19,313	指導課
小1グッドスタート 事業 【再掲：重点Ⅰ】	小学校第1学年において、児童数が30人以上の学級が1学級でもあれば、1年生すべての学級に対して学習面や生活面をサポートする支援員を配置して「小1プロブレム」への対応を図り、小学校生活のスタートの1年間で、心豊かで充実した成長の場となるようにする。 4月～10月(20週)は県の補助事業 11月～3月末(18週)は単市による配置	118,534	学事課
校種間連携の推 進	子どもたちの不安をやわらげ、期待感や安心感がもてるような指導について、学力向上や生徒指導、特別支援教育等の視点から組織的・継続的な取組を行っている。中学校区での学力の分析や合同研修会の実施、生活に関する共通したルールづくり、個別の教育支援計画・個別の指導計画の引継ぎなど、校種間連携の体制づくりの積極的な推進を図る。	—	指導課

○自立応援室での支援

倉敷市立小・中学校では、教室に入りづらい児童生徒の居場所として、校内に「自立応援室」を設置し、個々の児童生徒に合わせた学習支援や生活支援を行っています。

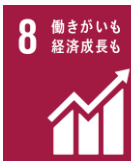
この「自立応援室」は、学習の場としてだけではなく、読書や創作活動を行うなど、児童生徒が行きやすくなるような環境づくりに取り組んでいます。



基本施策③ 学校教育の充実を図る

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合	小学校6年70.6% 中学校3年61.4%	小学校6年76.0% 中学校3年75.0%	小学校6年80.0% 中学校3年80.0%
学校が楽しいと思う子どもの割合	82.2%	90.0%	95.0%
「子どもの学校での教育がしっかりできている」と感じている人の割合	68.2%	80.0%	95.0%

施策③-1 教育要領、学習指導要領のねらいの具体化と確かな学力の向上



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
学力向上支援事業 【再掲:重点Ⅰ】	学習内容の理解を深めるため、主に授業中に、児童生徒の状況に応じた学習支援や個別指導を行う学習支援員(小・中学校43人)を配置する。また、児童生徒の状況に応じた問題を提供する学習支援ソフトを活用する。	25,020	指導課
基礎・基本定着事業 【再掲:重点Ⅰ】	ICTの活用等による基礎・基本の習得及び授業改善による学力の向上を図るための学校の取組を支援するために外部講師を学校に派遣する。また、学校の継続的な取組の成果等を市内の学校へ発信する。	168	指導課
放課後学習サポート事業 【再掲:重点Ⅰ】	小・中学校で放課後・土曜日・長期休業中に学習支援ソフト等を活用して児童生徒の状況に応じた学習支援を行う支援員(小学校52人・中学校26人)を配置する。	3,729	指導課
学校園支援ボランティア活用事業 【再掲:重点Ⅰ】	学力向上支援や生徒指導上の問題、特別な支援が必要な児童生徒の支援などを中心に、学校の教育活動を支援するボランティアを学生や市民等から募集・登録し、学校のニーズとマッチングして学校にボランティアを派遣し学校園を支援する。	251	指導課
キャリア教育推進事業 【再掲:重点Ⅰ】	地元企業の協力を得ながら地域における職場体験活動(倉敷チャレンジ・ワーク14)を通して、生徒の望ましい職業観や勤労観を育て、自己の生き方を考え、様々な課題を乗り越えながら学習や生活にチャレンジすることができるように支援し、学校におけるキャリア教育を推進する。	2,317	指導課

施策③-2 教職員の資質や指導力の向上



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
研究指定事業 【再掲:重点Ⅰ】	当面する教育上の諸問題の解決を目指して、各校園種ごとの研究指定校が2年間の研究実践に取り組み、研究の深化、充実を図り、本市教育の進展を図る。	510	指導課
授業改革推進リーダー・推進員の配置【県事業】	地域内の学校を継続的に訪問し、授業改善や校内指導体制への指導、助言を専門的に行う「授業改革推進リーダー(教頭)・授業改革推進員(指導教諭)」を配置することで、地域における核として教員の授業力向上及び、学校の学力向上の取組を支援し、児童生徒の学力の向上、定着を図る。	—	指導課
教育センター研修事業	初任者研修等の経験年数別研修、幼児教育・生徒指導・特別支援教育等の職能研修を実施し、教職員の資質向上を図る。	3,134	教育センター指導課

教師業務アシスタント配置事業 【再掲：重点Ⅰ】	教員の働き方改革を推進するとともに、学校現場の教育体制の充実を図るため、教員の事務作業等を補助する教師業務アシスタントを配置する。 (小学校60人・中学校26人)	101,993	学事課
----------------------------	--	---------	-----

施策③ー3 防災教育・安全教育の推進



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
学校防災教育推進事業 【再掲：重点Ⅰ】	学級指導や各教科等の指導、避難訓練等を通して、地域の実態に即した防災教育を進め、防災意識を向上させるとともに、災害を自分事として捉え、災害発生時に自らが判断し、迅速かつ適切な行動ができるよう指導の充実を図る。 中学校では「自助」に加えて「共助」についての学習を進め、中学生が自ら考え、家庭や地域の力となることができるよう指導の充実に努め、将来の地域防災の担い手の育成を図る。	3,513	保健体育課
通学路安全推進事業	小中学校の通学路及び園外保育での移動経路について、教育委員会・道路管理者・警察等による定期的な合同点検を実施し、交通安全や防犯上の安全対策を推進する。また、各学校における交通安全教室等を含めた交通安全教育において、指導、助言を行う。 小学校の通学路へ既存の登下校見守り防犯カメラの維持管理に努め、児童等の安全確保を図る。	3,999	保健体育課

施策③ー4 安全・安心な教育施設の整備



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
学校園施設安全対策・防災機能強化事業 【再掲：重点Ⅰ】	学校園の屋上防水・外壁改修を行う。令和7年度は大高小学校他22校園で実施する。	(2,490,271)	教育施設課
【新】屋内運動場エアコン整備事業 【再掲：重点Ⅰ】	学校の屋内運動場にエアコンを計画的に設置する。令和7年度は粒江小学校他8校に設置する。	217,112	教育施設課
長尾小学校校舎等整備事業 【再掲：重点Ⅰ】	教室不足の解消に向けて、校舎等を建設する。令和7年度は増築工事を行う。	307,424	教育施設課
第二福田小学校校舎等整備事業 【再掲：重点Ⅰ】	教室不足の解消に向けて、校舎等を建設する。令和7年度は実施設計等を行う。	69,954	教育施設課
倉敷第一中学校校舎等整備事業 【再掲：重点Ⅰ】	教室不足の解消に向けて、校舎等を建設する。令和7年度は実施設計等を行う。	112,000	教育施設課
義務教育学校施設整備事業 【再掲：重点Ⅰ】	倉敷市立下津井学園の設置に向けて、下津井中学校の改修等を実施する。 (令和8年4月設置予定)	106,646 (397,100)	教育施設課
学校トイレ洋式化改修・校舎等照明LED化事業 【再掲：重点Ⅰ】	学校のトイレ洋式化改修及び校舎等照明のLED化を計画的に進める。令和7年度は、第五福田小学校他16校で実施する。	(1,409,429)	教育施設課

※予算額の()内は、令和6年度2月補正予算前倒し計上額

基本施策④ 時代の進展に対応した教育を積極的に取り入れる

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合	43.6%	50.0%	60.0%
授業中にICTを活用して授業ができる教員の割合	88.5%	100.0%	100.0%

施策④ー1 時代の進展に対応する教育の推進



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
英語教育推進事業 【再掲：重点Ⅰ】	英語力向上を目的に、外国人英語講師25人を配置する。また、小学校5・6年生の全員が個人で利用できる英語学習ソフトを導入する。「倉敷市長杯G7倉敷こどもサミット宣言記念中学生英語スピーチコンテスト」を開催し、英語学習の動機付けを行う。	158,628	指導課
デジタル教科書整備事業	令和6年度の中学校用教科書採択に伴い、採択された教科書に対応する指導者用のデジタル教科書を整備する。普通教室や特別教室、コンピュータ教室等で日常的にICTを活用した授業を行うことができるため、学習指導要領で示された学力を定着するための教材の一つとして活用する。	—	指導課
教育用コンピュータ整備事業 【再掲：重点Ⅰ】	小・中・高・特別支援学校に整備したコンピュータ等のICT機器を計画的に更新し、子どもたちの情報活用能力の育成と情報通信技術を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を図る。	307,160	教育ICT推進課
GIGAスクール構想に対応したパソコン等整備事業	GIGAスクール構想の実現に向けた情報機器の運用管理と活用推進を行う。令和7年度は、令和2年度に整備した1人1台端末の更新を行う。	163,169	教育ICT推進課
学校ICT支援員委託事業 【情報教育推進事業】	小・中・特別支援学校にICT支援技術を有した人員を派遣し、教員が授業において教育用ソフトウェアやICT機器等を活用した授業をする際の支援と、教員に対する情報モラルの研修を行うことで、教員のICT活用指導力と情報モラルに対する意識の向上を図り、教員は子どもたちの情報活用能力を育成する。また、児童生徒1人1台パソコンの活用について、教員の授業支援を行う。	31,156	教育ICT推進課
高梁川流域圏域こどもサミット	高梁川流域圏域の小・中学生がSDGsに関するテーマで討論を行う「こどもサミット」を実施する。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンデマンドで実施。令和6年度は、5市3町が参加し「流域サミット宣言」の内容をもとに集合型で意見交流を行った。次回は、令和9年度に開催を予定している。	—	指導課
ネットワーク・システム整備事業	学校園と生涯学習施設、教育委員会におけるネットワーク(校務用・教育用・図書館用)やそれらを利用して使用する各システム(教育用システム・学校園事務ネットワークシステム・図書館システム等)の整備と保守を行い、セキュリティ確保および業務の安定稼働に努める。	300,279	教育ICT推進課
学校園事務ネットワークシステム更新事業 【ネットワーク・システム整備事業】	学校園事務ネットワークシステム(統合型校務支援システム)を使用する学校園での業務が円滑にできるよう、事業者とともにサポート体制をつくり、支援を行う。また、このシステムを活用することにより学校における働き方改革を推進する。 (予算額は、「ネットワーク・システム整備事業」の予算額に含む)	—	教育ICT推進課
採点支援システム運用事業 【再掲：重点Ⅰ】	児童生徒に対する指導の充実を図り、教員の指導力向上につなげるため、採点支援システムを継続的に導入する。	3,498	指導課
保護者連絡システム運用事業	学校園と保護者間における意思疎通がスムーズに行えるように、双方向での連絡機能を有した保護者連絡システムを活用し、学校園・保護者双方の負担軽減を図るとともに、利便性の向上に努める。	—	教育ICT推進課

基本施策⑤ 子どもの健康づくりを支援する

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
中学校を卒業後も自主的にスポーツをする時間 をもちたいと思う中学生の割合	2年生 80.4%	2年生 87.0%	2年生 90.0%
学校給食調理場のドライ方式の割合(ドライ方式 給食調理場での調理食数／市内学校給食調理 場の総調理食数×100)	54.1%	66.0%	100.0%

施策⑤ー1 子どもの体力向上・健康管理の推進



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
学校体育振興事業	学校教育における体育・スポーツ活動の指導の充実を図るとともに、児童生徒の体力や運動能力の実態を把握し、体力向上に向けた取組を推進する。また、児童生徒が参加する体育大会等への助成を行う。	13,464	保健体育課
【拡大】部活動指導体制推進事業 【再掲：重点Ⅰ】	部活動を指導する教員の負担を軽減するとともに、技術指導力の補完による部活動の質的な向上を図るため、専門的な知識や技能を有する指導員を配置する。部活動の地域移行に備え、指導員を増員する。	31,559	保健体育課
学校健康管理事業	幼児、児童生徒が心身ともに健康であるために、毎年定期健康診断を実施し、疾病異常の早期発見、早期治療に努め、また、教職員の健康管理や健康診断の結果に基づいて適切な事後措置を講ずる。そのために、市立の全学校園に学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱する。 飲料水やプール水の水質検査、また学校受水槽の清掃等も合わせて実施し、健康的で快適な学習環境の確保に努める。	271,696	保健体育課

施策⑤ー2 食育の推進



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
学校給食における食育の推進	学校給食は心身の成長期にあたる児童生徒に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、児童生徒が食事の重要性、楽しさ、地域の食料を学ぶ機会を提供している。 栄養教諭、学校栄養職員は食に関する指導の充実に向け、計画的に献立作成を行うとともに、指導資料や食育教材の開発を行っている。	—	保健体育課
高梁川流域学校給食アレルギー対応等献立レシピ研究事業 【再掲：重点Ⅰ】	高梁川流域圏の市町において、学校給食アレルギー対応献立レシピ集の紹介と広く市民にアレルギー対応についての理解を深めるため、圏域内でアレルギーフリーのバイキングや親子料理教室を行う。	204	倉敷中央学校給食共同調理場
学校給食運営事業 【再掲：重点Ⅰ】	子育て世帯の負担軽減を図るために、小中学校の給食費の令和7年度の1か月分を支援する。 安全かつ安心な学校給食の推進を図るため、調理場の施設や備品の修繕及び衛生管理に努める。 老朽化している給食調理場については、「倉敷市学校給食調理場整備に係る基本方針」に沿って整備を進める。	(280,810)	保健体育課

共同調理場管理事業	安全かつ安心な学校給食の推進を図るため、調理場の施設や備品の修繕及び衛生管理に努める。 真備学校給食共同調理場で調理された給食の副食を真備地区の1中学校と6小学校に配送する業務を委託する。 倉敷中央学校給食共同調理場および真備学校給食共同調理場における調理等の業務を委託する。	760,185	倉敷中央学校給食共同調理場
倉敷学校給食共同調理場整備運営事業	倉敷学校給食共同調理場の調理業務等をPFI委託し、中学校2校、小学校10校へ給食を提供する。	526,238	倉敷中央学校給食共同調理場
新共同調理場整備事業 【再掲:重点Ⅰ】	「倉敷市学校給食調理場整備に係る基本方針」に基づき、(仮称)児島学校給食共同調理場(PFI方式・令和7年度稼働開始予定)の整備を進めるとともに、玉島地区に設置を予定する新共同調理場について事業者選定を行う。	49,889	保健体育課
児島学校給食共同調理場整備運営事業 【再掲:重点Ⅰ】	海技大学校跡地に、児島地区の自校方式調理場を集約した新共同調理場を整備し、中学校5校、小学校9校へ給食を提供する。令和7年8月から稼働予定。	1,198,058 (446,785)	倉敷中央学校給食共同調理場

※予算額の()内は、令和6年度2月補正予算前倒し計上額

○倉敷学校給食共同調理場



玄関



野菜・果物下処理室



調理の様子



給食の配送トラック



出張学校給食展



共同調理場からのオンライン配信による食育

基本施策⑥ 就学前教育の充実を図る

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
3歳児保育を実施している幼稚園の割合	84.2%	88.4%	100.0%
預かり保育を実施している幼稚園の割合	60.5%	76.7%	100.0%

施策⑥ー1 幼稚園教育の充実



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
交流保育事業	公立の小規模園が近隣の園と、多数の集団でないと経験できない遊びを中心とした活動を行う交流保育を実施する。	837	学事課
幼稚園指導力アップ支援事業	幼稚園教育の経験が豊富で優れた指導力や管理力をもつ退職園長等を任用し、指定園の園長や教諭等に指導、助言を行うことにより、幼稚園の教育水準の維持向上や幼稚園が直面する課題の解決を図る。	478	指導課
3歳児保育実施事業 【再掲:重点Ⅰ】	市立幼稚園において、3歳児保育のニーズに対応するため、3歳児保育を34園で実施する。	201,504	学事課
幼稚園預かり保育実施事業 【再掲:重点Ⅰ】	市立幼稚園において、保護者が就労している場合などに保育時間を延長する預かり保育を26園で実施する。	112,190	学事課
幼稚園子育て支援事業	保護者や地域の人々に幼稚園の施設や機能を開放したり、カウンセラーによる子育て相談(8園)を実施したりして、「地域における幼児期の教育センター」としての役割を果たす。	1,051	指導課

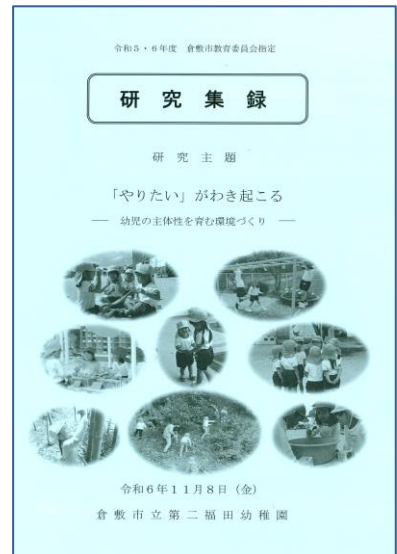
○第二福田幼稚園の研究発表

研究主題 「『やりたい』がわき起こる
ー幼児の主体性を育む環境づくりー」

令和5・6年の2年間にわたり、倉敷市教育委員会の研究指定校として、研究に取り組む。

幼児理解を深めていき、一人一人の幼児の興味や関心を捉えるとともに、幼児との対話を大切にしながら遊びの環境の工夫や保育の改善に主眼を置き研究を進めた。その結果、幼児と教師が信頼関係を築き、自分からしたい遊びに向かう幼児の姿が見られるようになった。さらに、幼児の思いを尊重した遊びの環境を工夫していくことで、遊びだけでなく、他の生活場面や活動でも、自分の思いを出したり、自らやってみようとしたりする幼児の主体的な姿につながった。

また、動画や写真等を用いて自分たちの保育を可視化することで、課題を明確にし、次の保育につながるよう保育の振り返りを工夫していった。そうする中で、これまで以上に教師自身が試行錯誤し、職員全員で共通理解しながら保育の工夫や改善を図っていくことにつながり、幼児理解や課題解決の力を高めることができた。



基本施策⑦ 障がいのある子どもが、適切な教育や保育が受けられる体制を整える

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
特別支援教育について理解が進んでいると思う人の割合	67.1%	70.0%	80.0%
特別支援教育・特別支援保育に関する学習会・研修会等への教職員や保育職員の参加者数	2,188人	2,050人	2,150人

施策⑦ー1 支援体制の確立と個に応じた支援の充実



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
学校・園生活支援員配置事業 【再掲:重点Ⅰ】	障がいのある幼児、児童生徒の教育活動の充実を図るため、学校・園に生活支援員を配置する。 (幼稚園30人・小学校129人・中学校28人・高等学校6人・特別支援学校10人)	249,706	学事課
【拡大】通級指導推進事業 【再掲:重点Ⅰ】	通級指導(幼児指導教室)の充実のために必要な非常勤講師等を配置し、特別支援教育の充実を図る。令和7年度は、小学校に1名増員する。 ・幼稚園 8人 ・小学校 13人 ・中学校 1人	68,879	学事課 指導課 教育企画総務課
特別支援教育専門家派遣事業 【再掲:重点Ⅰ】	専門的知識を有する学識経験者、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、福祉関係者等の専門家スタッフが、学校園の要望や幼児、児童生徒の実態に応じて学校園を訪問し、指導、助言等を行い、特別支援教育の一層の充実を図る。	863	指導課
教育相談員配置事業	保護者及び学校からの相談に応じ、適切な教育支援・就学相談を進めるため、特別支援教育推進室へ教育相談員を配置し、相談体制の充実を図る。	3,484	指導課

施策⑦ー2 関係機関や民間団体等との連携



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
特別支援教育推進事業	センター的機能を果たす特別支援学校への研修委託、教育支援体制整備、啓発活動等を行う。	12,226	指導課
特別支援教育大学連携事業	特別支援教育を専攻する学生の市内特別支援学級等への人的支援(ボランティア)、特別支援教育に携わる教員を目指す学生の資質向上、小中学校・大学の双方にとって有益な事業を実施する。	58	指導課

基本施策⑧ 子どもたちが緑や生き物などの自然にふれながら、学べる機会を提供する

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数	16,209人	14,500人	18,000人
自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合	84.0%	86.0%	88.0%

施策⑧ー1 自然とふれあう機会・施設の充実



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
展示事業	「秘蔵お宝展第3弾」、「昆虫絵本画展」、「新着資料展」、「しぜんしくらしき賞作品展」等の企画展の開催、及び常設展示の部分的な更新を実施する。	1,535	自然史博物館
教育普及事業、自然史博物館まつり事業	自然史博物館友の会をはじめ関連団体との協働で、自然観察会、各種講座、自然史博物館まつり等を実施する。学校等への出前講座による講師派遣を行う。	2,241	自然史博物館
自然の家PFI施設整備運営事業	恵まれた自然環境の中で、野外活動及び集団宿泊研修を通じて、青少年の心身ともに健全な育成を図るとともに、市民の生涯学習に係る機会を提供する。	218,835	生涯学習課
自然史博物館施設整備事業【再掲：重点Ⅱ】	自然史博物館をライフパーク倉敷の敷地内に移転し、ライフパーク倉敷と一部複合化する。	23,429	生涯学習施設再編整備室 自然史博物館
冒険遊び場支援事業	自然体験活動機会の充実を図るため、民間団体が実施するプレーパーク(冒険遊び場)の開催及びスタッフの研修会実施等を支援する。	285	生涯学習課
調査研究事業、標本・文献等収集事業	寄贈資料の受入れや標本作製によって、自然史資料を収集・保管し、活用できるよう整理を進める。自然に関する研究成果を、研究報告や専門誌で公表する。	3,129	自然史博物館
自然史博物館管理運営事業【再掲：重点Ⅱ】	広報紙やホームページのほか、SNS等を活用した積極的な広報活動を行う。事業の評価や改善を踏まえ、施設の将来計画に関する調査・検討を進める。	24,137	自然史博物館

基本施策⑨ 一人一人が生涯を通して行う学びを支援するとともに、その学びによる地域の活性化を推進する

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
自分が参加したいと思う講座や活動があると思う人の割合	18.7%	41.0%	51.0%
市民学習センター、公民館、図書館で開催される生涯学習講座への参加者数	25,504人	39,000人	50,000人
市民一人当たりの市立図書館の貸出数	5.3点	6.2点	6.5点

施策⑨ー1 あらゆる世代に対応した学びの機会の提供



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
生涯学習活動推進事業【生涯学習活動推進事業】	人生100年時代を見据え、市民一人一人が生涯を通じて学ぶことのできる多様な学習機会を提供するため、利用者のニーズや地域課題を把握し、中央公民館的な役割を担う市民学習センターと基幹公民館、地区公民館の役割を明確にし、各種講座、講演会など学習機会の充実と内容の向上に努める。	268,715	市民学習センター
いきいきパスポート事業	倉敷市在住の小中学生に、市内の社会教育施設等が通年で無料となるパスポートを配布し、体験活動の場の提供と施設の利用促進を図る。	3,257	生涯学習課
高梁川流域パスポート事業【再掲：重点Ⅱ】	高梁川流域圏域在住の小中学生に、圏域の社会教育施設等が土・日・祝・振替休日・7～8月の平日に無料となるパスポートを配布し、体験活動の場の提供と施設の利用促進を図る。	1,154	生涯学習課
子ども読書活動推進事業	子どもの読書活動推進のため、おはなしの会(読み聞かせ等)等の事業を関連団体やボランティア等と協働し実施する。	115	中央図書館
高梁川流域学び直し支援事業【再掲：重点Ⅱ】	高梁川流域圏域の社会参画に困難を抱える若者を対象に、カウンセリング・学習支援・居場所の提供等の支援を実施する。	9,854	生涯学習課
高梁川流域自然史博物館展示事業【再掲：重点Ⅱ】	特別展「岡山の石」を開催し、岡山県の人々の生活に古くから活かされてきた石を展示する。また、高梁川流域の市町と連携して自然観察会を開催する(令和7年度は総社市、笠岡市を予定)。標本展示セット「まちかど博物館」を公共施設等へ貸し出す。	975	自然史博物館
生涯学習推進事業	市民への学習機会の提供と市政への啓発として出前講座を実施する。また、市職員に対する生涯学習の啓発として、生涯学習研修会を実施する。	215	生涯学習課
高梁川流域連盟運営事業	圏域に暮らす人々の連帯意識を育み、圏域全体の文化生活向上を図るため、高梁川流域連盟が実施する各種事業を支援する。	5,456	生涯学習課

施策⑨ー2 学びの拠点となる生涯学習施設の機能
充実



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
生涯学習環境整備事業	市民の生涯学習ニーズに応えるため、必要な施設・設備の整備を行い、利便性の向上等施設機能の充実を図る。	63,477	市民学習センター
ESCO事業 【再掲：重点Ⅱ】	施設の省エネ改修による光熱水費削減分で、設備更新・維持管理費用を賄うESCO事業をライフパーク倉敷・倉敷公民館・玉島図書館で行う。	65,969	市民学習センター 中央図書館
公民館等複合化事業 【再掲：重点Ⅱ】	船穂公民館と船穂憩の家を複合化し、建物や設備等の長寿命化工事を行う。また、真備公民館とまきび荘を複合化し、建物や設備等の改修工事を行う。	309,807	生涯学習施設 再編整備室
科学センター運営事業	プラネタリウム番組制作、投映及び全天周映画の上映に加え、科学に関する常設展示の充実・特別企画展の開催、科学に関する講座・イベントの開催等を通じて、青少年の科学に対する夢や憧れをはぐくむとともに、広く一般に科学知識の普及・啓発を図る。	109,734	科学センター
天文王国おかやま事業 【再掲：重点Ⅱ】	「天文王国おかやま」誘客促進協議会(事務局：井原市)に参加し、高梁川流域圏域を中心とした県内の天文関連施設を活用したスタンプラリー等を実施することにより、各施設の利用促進を図る。	200	科学センター
図書館図書購入事業	収集基本方針に基づき、児童・生徒の探求学習、大人のリスキリングに関するもの等、市民のニーズに即した資料の収集に努める。	83,436	中央図書館
高梁川流域図書館相互利用推進事業 【再掲：重点Ⅱ】	高梁川流域圏域の全ての公立図書館で返却ができる搬送システムにより、図書館の利便性向上を図り、相互利用を推進する。	1,661	中央図書館

施策⑨ー3 学びの成果を地域で生かせる環境づくり



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
地域還元型講座実施事業【生涯学習活動推進事業】 【再掲：重点Ⅱ】	地域住民や利用者のニーズ・課題の把握に努め、学んだ成果を家庭や地域へ還元できる(活かせる)講座を実施する。 ※子育て支援、ICT活用等の講座 (予算額は、「生涯学習活動推進事業」の予算額に含む。)	—	市民学習センター
地域情報発信事業【生涯学習活動推進事業】	各地域の特色ある文化や産業等、地域資源の広報や伝承・保存につながる講座を実施する。 (予算額は、「生涯学習活動推進事業」の予算額に含む。)	—	市民学習センター

地域力向上講座 実施事業【生涯学 習活動推進事業】 【再掲：重点Ⅱ】	地域課題を把握し、関心の喚起や理解の深化、課題の共有化、問題解決のきっかけづくりにつながる講座を実施するとともに、子どもから高齢者までが集い、地域力の向上や持続可能な地域づくりの実現を図る。 ※防災・減災や防犯、介護予防、自然環境、交通安全、SDGs等をテーマにした講座 (予算額は、「生涯学習活動推進事業」の予算額に含む。)	—	市民学習センター
---	---	---	----------

施策⑨ー4 多様な主体と連携した生涯学習の推進



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
くらしき市民講座 実施事業【生涯学 習活動推進事業】	行政機関との連携強化はもとより、大学や高校、NPO等各種団体とも連携し、防災や減災、子育て、環境問題、男女共同参画社会の実現など、地域課題の解決や持続可能な地域づくりにつながる講座を実施する。 (予算額は、「生涯学習活動推進事業」の予算額に含む。)	—	市民学習センター
大学との連携による学校等支援事業 【再掲：重点Ⅱ】	くらしき作陽大学及び倉敷芸術科学大学との人材交流や、連携協力した地域の魅力発信事業を行うことにより、教員及び学生の資質・能力の向上並びに地域活性化の実現を図る。	—	美術館 自然史博物館

○公民館の取組

「高校生と学ぶ防災アプリを使っ ての津波避難体験！講座」

南海トラフ地震に備えて、「逃げトレ」というアプリを使って、津波の避難経路を高校生と一緒に考え、地域の方や高校生が災害に対して「共助」の意識を高める機会とすることを目的として実施しました。



「外国人のための防災講座

危険に備えて身を守ろう」

総勢19名の外国人が参加し、座学や疑似体験を通して、災害の怖さや備えの大切さを学びました。

地域や県立玉島高等学校からのボランティアも参加し、外国人と交流を深めながら、自助共助について考える機会となりました。



○倉敷市e公民館

動画投稿サイトYoutubeに、倉敷市公民館の公式チャンネル「倉敷市e公民館」を開設。

ご自宅で気軽に学習していただけるよう、公民館講座等のさまざまな動画を配信しています。



基本施策⑩ 安心して子育てできる環境を整える

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
身近に子育ての相談ができるところがあると思っ ている人の割合	就学前児童の 保護者76.4% 小学生の保護者 63.7%	就学前児童の 保護者82.0% 小学生の保護者 70.0%	就学前児童の 保護者85.0% 小学生の保護者 75.0%
子育てを家族で協力して行っている人の割合	就学前児童の 保護者88.0% 小学生の保護者 82.3%	就学前児童の 保護者92.0% 小学生の保護者 92.0%	就学前児童の 保護者95.0% 小学生の保護者 98.0%

施策⑩ー1 子育てに関する情報提供と 体制の充実



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
家庭教育支援事業	家庭教育力向上を図るため、家庭教育学級の開設及び保護者同士の意見交換を通して学習できるワークショップを実施し、保護者や地域住民に対して家庭教育の機会を提供する。	1,741	生涯学習課
子どもセンター事業	倉敷市子どもセンターの活動を通じて親子間の交流の活性化を図るため、子育て支援情報を掲載した情報誌「パワフルキッズ」を発行するとともに、親子の体験活動の機会を提供する。	2,850	生涯学習課
子育て支援コーナー整備事業	6館(中央、水島、児島、玉島、船穂、真備)全ての図書館に設置されている子育て支援コーナーの資料を充実させ、子育てをしている人を支援する。 (予算額は、「図書館図書購入事業」の予算額に含む。)	—	中央図書館
親育ち支援講座実施事業【生涯学習活動推進事業】	家庭教育の大切さや家庭として果たすべき役割などを学ぶ親育ち支援のための講演会や講座を実施する。 (予算額は、「生涯学習活動推進事業」の予算額に含む。)	—	市民学習センター
【拡大】奨学金給付貸付事業 【再掲：重点Ⅲ】	倉敷市の奨学金制度には、卒業後に返還の必要な貸付制度、返還一部免除型貸付制度、返還の必要のない給付制度の3種類があり、経済的に修学が困難な学生の支援を行う。令和7年度は、高校の給付を15人から20人に拡大する。 ＜新規募集人数＞【貸付】高校9人 大学・短期大学44人 【返還一部免除型貸付】大学・短期大学10人 【給付】高校20人 大学・短期大学23人 専修学校7人	57,298	学事課

○親育ち応援学習プログラム

家庭教育力向上のため、就学前児童や小学生の保護者を対象に、子育てについて保護者同士が話し合いながら自ら学べるワークショップ形式の講座（岡山県教育委員会作成の「親育ち応援学習プログラム」、通称「親プロ」）を実施している。

保護者が参加しやすいよう、公立幼稚園・小学校の人権講演会、入学説明会に合わせて実施しており、人気テーマは、「新入学までにできる親の関わり」「自己肯定感を育む関わり方」「非認知能力を伸ばす方法」など。



参加者同士の交流の場面

基本施策⑪ 学校、地域、家庭が連携し、地域全体で子どもたちを育む環境を整える

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
地域の人に支えてもらって子育てをしていると思う人の割合	就学前児童の保護者35.4% 小学生の保護者43.7%	就学前児童の保護者47.0% 小学生の保護者55.0%	就学前児童の保護者50.0% 小学生の保護者60.0%
学校・家庭・地域が連携した事業に参加した子どもの数	183,879人	286,000人	300,000人

施策⑪ー1 「ふるさと倉敷」を愛し、誇りに思う心の育成



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
郷土くらしきを大切にする心育成プロジェクト事業 【再掲:重点Ⅲ】	・子どもたちが、郷土くらしきを愛し、故郷に親しみ、心豊かに成長できるような取組を、市民憲章に謳われている精神を生かして行う。 ・小学校3・4年生の社会科で、地域教材を取り入れ市独自に作成した副読本を活用した指導を行う。 ・生徒自身が身のまわりの問題に気づき、自ら考え、行動しようとする力を育てることに重点を置き、生徒が主体的に問題解決を図っていこうとする能力や態度の育成を目指す。市内26公立中学校の生徒代表と小学生代表が一堂に会し、「倉敷っ子憲章」に準じた取組やSDGsの視点を取り入れた取組などをテーマに協議する。	9,360	指導課

施策⑪ー2 地域全体で子どもを見守る環境づくり



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
【拡大】学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)推進事業 【再掲:重点Ⅲ】	学校や地域が抱える課題を解決し、子どもたちの健やかな成長とさらなる質の高い学校教育の実現を図るため、「地域とともにある学校づくり」を目指す学校運営協議会制度の設置校(コミュニティ・スクール)を拡充する。	—	指導課 学事課 生涯学習課 教育企画総務課
【拡大】地域学校協働活動推進事業 【再掲:重点Ⅲ】	地域住民が主体となり、学校での学習支援や環境整備などの支援活動を通して子どもたちと触れ合うことで子どもたちの豊かな人間性を養い育むとともに、地域の教育力の向上を図る。令和6年度80校から令和7年度は84校(予定)に拡大して実施する。※国の1/3 補助事業	62,675	生涯学習課
青少年健全育成団体支援事業	市内26中学校区に組織している「青少年を育てる会」の活動を支援するとともに、研修会等の開催を通して地域の指導者の資質向上を図る。	10,050	生涯学習課
よい子いっぱい基金運営事業	子どもたちの健やかな成長を図るため、大山茂樹元市長の寄附と一般から募った浄財を基金とし、よい子強い子表彰の主催のほか、青少年の健全育成に係る各種事業の助成を行う。	5,461	生涯学習課
こどもまつり実施事業	市内の子どもに関わる団体と協力して、各種団体がいろいろな遊びや体験のコーナーを開設したこどもまつりを開催することで、子どもたちが交流を深めるとともに少年団体の活動の活性化を図る。	2,173	市民学習センター
放課後子ども教室推進事業	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て勉強やスポーツ・文化活動等を行う。 ※令和7年度は60教室を開設予定。国の1/3 補助事業	3,474	生涯学習課
二十歳の集い記念事業	20歳になる人で構成する実行委員会による企画運営の支援や地域の各種団体との連携により、社会人としての自覚が持てる「二十歳の集い」式典を開催する。	6,576	生涯学習課

施策⑪ー3 青少年の健全育成施策の推進

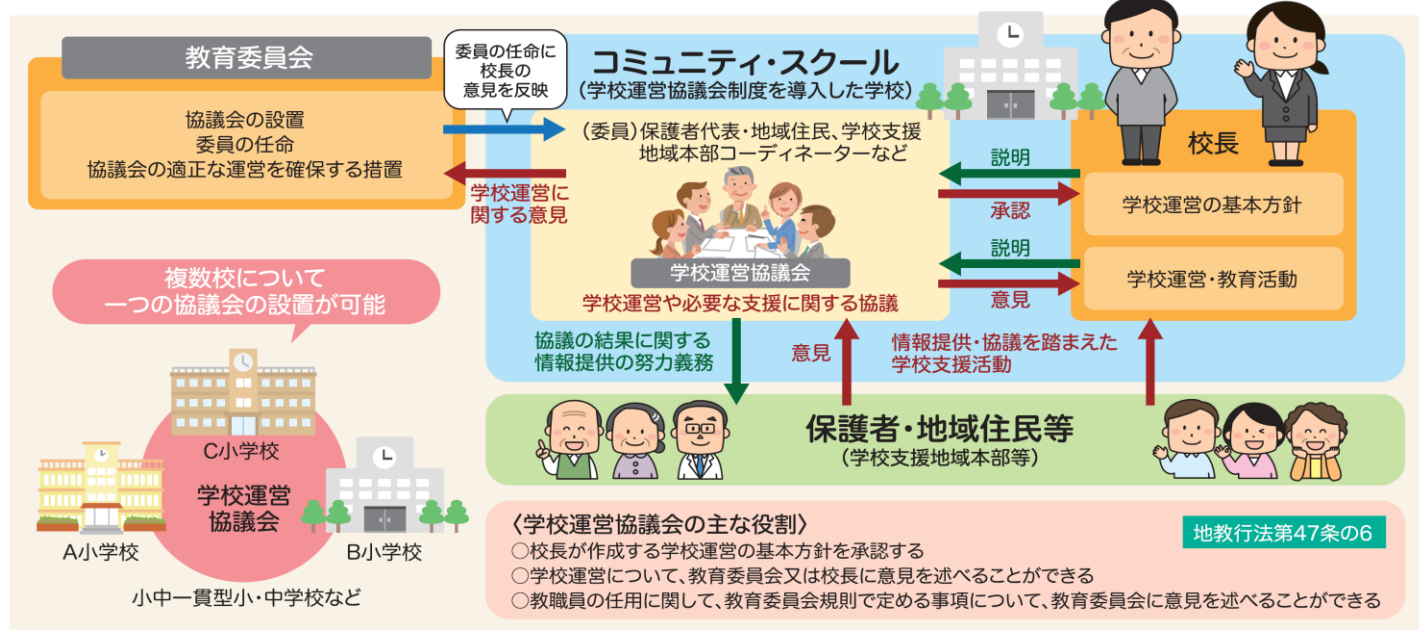


事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
青少年育成センター非行防止活動事業	補導員による街頭補導、相談員による相談活動を実施する。また、関係機関等と連携して、青少年の非行防止活動や広域補導等を行い、青少年の健全育成を図る。	84,509	青少年育成センター
「生きる力」支援事業	不登校及びその傾向のある子どもたちに対して、地域社会との接点として、居場所や体験活動の場を設けるとともに、保護者の心理的負担軽減のための相談会を実施する。	1,622	生涯学習課
子ども会支援事業	次世代を担う子どもたちを心豊かにたくましく成長させるために活動している倉敷市子ども会連合会を支援する。	1,800	市民学習センター
青少年健全育成推進大会実施事業	青少年問題に対する市民意識の高揚を図るため、青少年健全育成講演会や、「青少年を育てる会」の活動周知を行う青少年健全育成推進大会を開催する。	550	生涯学習課

○学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）とは

学校運営協議会制度は、平成16年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により導入された制度で、学校運営協議会で行う協議や熟議を通して学校・保護者・地域住民等が子育てに関する目標やビジョンを共有し、一体となって日々の教育活動に取り組むことを目的とした制度です。学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と言います。

学校運営協議会制度の仕組み（イメージ）



基本施策⑫ 文化芸術活動を振興する

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
市立美術館の利用者数	81,664人	90,000人	100,000人
文化施設(市民会館・芸文館・児島文化センター・玉島文化センター・マービーふれあいセンター)の利用者数	432,707人	645,000人	690,000人
生活の中で文化的活動(鑑賞と実践のどちらでも可)を行っている人の割合	28.5%	40.0%	50.0%

施策⑫-1 優れた美術品にふれる機会の提供



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
美術館展覧会事業 【再掲:重点Ⅱ】	市民に美術に対する理解や関心を深めてもらうため、倉敷市出身で紙芝居・絵本作家のやべみつのりと彼の息子で芸人や俳優として活躍し、漫画『大家さんと僕』が大ヒットした矢部太郎の作品原画等を展示する「やべみつのりと矢部太郎『ぼくのお父さん』のふるさと・くらしき」など、郷土作家の優れた美術作品や様々なジャンルの作品に触れる機会を提供する。	10,879	美術館
美術作品収集活動事業	郷土ゆかりの優れた作家の作品の収集に努め、美術館コレクションの充実を図る。	2,202	美術館
美術館広報活動事業	ホームページの収蔵品紹介に作品解説を加えたり、SNSで積極的な情報提供を行うなど、デジタルコンテンツを広報に最大限に活用する。	171	美術館

施策⑫-2 市民が楽しみながら芸術活動を行える機会や場所の提供



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
倉敷っ子美術展開催事業	子どもたちの創造性をはぐくむ契機とするため、小・中学生が制作した作品を展示する「倉敷っ子美術展」を開催する。	889	美術館
美術館教育普及事業	制作の技法を学習する実技講座や広く美術に関する情報を提供する美術教養講座のほか、展覧会内容に合わせてワークショップを開催し、市民が気軽に芸術活動に親しむ機会を提供する。	3,322	美術館

基本施策⑬ 歴史文化や伝統の保存・継承と活用を図る

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがある人の割合	56.0%	73.0%	80.0%
後世に伝えたいと思う歴史文化や伝統が継承されていると思っている人の割合	62.3%	62.0%	67.0%

施策⑬ー1 文化財の適切な保存と活用、継承



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
指定文化財保存事業	指定文化財等の保存活用を行うため、環境整備や修理などの必要な措置を講じる。県指定重要文化財「熊野神社本殿」の保存修理事業（令和7年度）への一部を助成 国指定重要文化財である旧野崎家住宅の保存修理費等の一部を助成する。令和7年度は保存修理の実施設計を行い、令和8年度から保存修理工事、消防設備、防災（崖）工事を実施する。 工期：令和7年度～令和17年度	11,910	文化財保護課
楯築遺跡保存整備事業 【再掲：重点Ⅲ】	国指定史跡・日本遺産の構成文化財である楯築遺跡を広く周知するとともに、保存・活用を図る。 令和6年11月に策定した史跡楯築遺跡保存活用計画に基づく遺跡の保存、整備、活用を実施する。令和7年度は発掘調査及び測量調査に着手する。	1,750	文化財保護課 埋蔵文化財センター
埋蔵文化財保護事業	開発行為から埋蔵文化財を適切に保護するため事前協議を行うとともに、必要に応じて試掘確認調査や全面発掘調査を実施する。	8,378	埋蔵文化財センター
埋蔵文化財調査事業	文化財の適切な保護及び活用を図るため、市内の貴重な遺跡について、正確な範囲等を調査する。令和6年度は、南山北古墳群の確認調査を実施する。	629	埋蔵文化財センター
歴史民俗資料館整備事業 【再掲：重点Ⅲ】	市庁舎等再編整備事業で整備する複合施設棟と一体的な活用を目指し、長寿命化等の整備を実施する。令和7年度は耐震診断を行う。 工期：令和7年度～令和10年度	7,500	生涯学習施設 再編整備室

施策⑬ー2 文化財に親しむ機会の充実



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
文化財保護事業	文化財や史跡の活用を図るため、草木の伐採や清掃などの環境整備を行う。 また、審議会に関する事など、文化財保護全般にわたる事業を行う。	11,559	文化財保護課
歴史民俗資料館管理運営事業	郷土の歴史民俗資料を収集・保存・展示する。	2,923	文化財保護課
埋蔵文化財教育普及事業	埋蔵文化財を通して、地域の歴史を知り、愛着と誇りを醸成するため、主催講座の開催、「ライフパークの集い」等のイベント参画、出前講座等への講師派遣、インターンシップの受入れ、新たな学習推進事業を実施する。	329	埋蔵文化財センター

基本施策⑭ 歴史的・魅力的な景観の形成を推進し、受け継いでいく

評価指標	実績値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
歴史的・魅力的な景観が保全されていると感じている人の割合	45.8%	53.0%	58.0%

施策⑭ー1 地区の特性を活かした歴史的景観の維持向上



事業名	概要	予算額 (千円)	担当課
伝統的建造物群保存事業 【再掲:重点Ⅲ】	伝統的建造物群保存地区の町並みを保存するため、建物の外観を修理、修景する者に補助を行う。(8件)	46,028	文化財保護課
伝統美観地区修景事業 【再掲:重点Ⅲ】	伝統美観保存地区の町並みを保存するため、建物の外観を修理、修景する者に補助を行う。	—	文化財保護課
町並み保存事業 【再掲:重点Ⅲ】	下津井・玉島町並み保存地区の景観を保存するため、建物の外観を修理、修景する者に補助を行う。	—	文化財保護課

○倉敷市内の文化財等



伝統的建造物群保存地区



箭田大塚古墳



熊野神社



旧柚木家住宅（西爽亭）

施策体系

めざすまちの姿 (第七次総合計画)	基本 目標	基本施策	個別施策
だれもがその人らしさ(個性)を尊重され、幸せに暮らしていくことができる 人の痛みを、子どもたちが実感としてわかっている 教員の資質が保たれ、教員と子どもが心豊かな人間関係を築き、学校教育が充実している 産業競争力が高く、多様な人材が働く機会に恵まれ、将来の暮らしに希望をもつことができる 心に充足感やゆとりをもち、家庭と仕事の調和がとれている 行政と市民、企業などが連携し、防災・減災対策や感染症対策などを積極的に進めるとともに、だれもが命を守る意識をもっている 持続可能な地域をめざすSDGsの理念を、だれもが理解し、行動している だれもが快適で活力に満ちた生活ができるよう、先端技術が生活に溶けこんでいる だれもが自分の健康に関心をもち、健康づくりに自ら取り組んでいる 豊かな自然の恵みにより食べ物がおいしく、健全な食生活が実現されている	思いやりの心を持ち、自分らしく、たくましく生き抜く力を育成する ・	①人権尊重の精神を基盤とする人権教育を総合的に推進し、多様な価値観や生き方を認め合い、人権が守られる社会をつくる	①－1 人権教育の総合的な推進
			①－2 学校園における人権教育の推進
			①－3 家庭・地域社会における人権教育の推進
		②全ての子どもが心も身体も健やかに成長できる学びの場をつくる	②－1 豊かな情操と道徳心の育成
			②－2 心の育成につなげる支援の充実
			②－3 学校園における校種間連携と諸課題の解決
		③学校教育の充実を図る	③－1 教育要領、学習指導要領のねらいの具体化と確かな学力の向上
			③－2 教職員の資質や指導力の向上
			③－3 防災教育・安全教育の推進
			③－4 安全・安心な教育施設の整備
		④時代の進展に対応した教育を積極的に取り入れる	④－1 時代の進展に対応する教育の推進
		⑤子どもの健康づくりを支援する	⑤－1 子どもの体力向上・健康管理の推進
			⑤－2 食育の推進

めざすまちの姿 (第七次総合計画)	基本 目標	基本施策	個別施策
仕事と家庭の両立ができ、 親が子どもとふれあう時間 をもつことができている 障がいの有無にかかわら ず、等しく保育・教育を受 けることができている 子どもたちが自然にふれな がら、健やかに育っている 興味あることを、だれもが、 気軽に学ぶことができている 高齢者が生きがいをもって 活動している 安心できる環境のもとで出 産・子育てができている 学校・園、地域、家庭が連 携して、子どもたちが困窮 することなく、安心して学 び、成長できる環境となっ ている 生活の中に個性的で魅力 的な文化芸術が息づいて いる 世代を超えて受け継がれ てきた歴史文化や伝統が 大切に継承され、輝いて いる 先人から受け継いだ歴史 的・魅力的な景観が、市内 各地で守られている	夢と生きがいを持ち、 学び続けることができ る社会を実現する ・ ふるさと倉敷を誇りに 思い、倉敷の未来を担 っていく力を育成する	⑥就学前教育の充実を図 る	⑥－1 幼稚園教育の充実
		⑦障がいのある子ども が、適切な教育や保育 が受けられる体制を整 える	⑦－1 支援体制の確立と個に応じた支援の充実
			⑦－2 関係機関や民間団体等との連携
		⑧子どもたちが緑や生き 物などの自然にふれな がら、学べる機会を提 供する	⑧－1 自然とふれあう機会・施設の充実
		⑨一人一人が生涯を通し て行う学びを支援する とともに、その学びに よる地域の活性化を推 進する	⑨－1 あらゆる世代に対応した学びの機会の 提供
			⑨－2 学びの拠点となる生涯学習施設の機能充実
			⑨－3 学びの成果を地域で生かせる環境づくり
			⑨－4 多様な主体と連携した生涯学習の推進
		⑩安心して子育てできる 環境を整える	⑩－1 子育てに関する情報提供と体制の充実
		⑪学校、地域、家庭が連 携し、地域全体で子ど もたちを育む環境を整 える	⑪－1 「ふるさと倉敷」を愛し、誇りに思う心 の育成
			⑪－2 地域全体で子どもを見守る環境づくり
			⑪－3 青少年の健全育成施策の推進
		⑫文化芸術活動を振興す る	⑫－1 優れた美術品にふれる機会の提供
			⑫－2 市民が楽しみながら芸術活動を行える 機会や場所の提供
		⑬歴史文化や伝統の保存 ・継承と活用を図る	⑬－1 文化財の適切な保存と活用、継承
			⑬－2 文化財に親しむ機会の充実
		⑭歴史的・魅力的な景観 の形成を推進し、受け 継いでいく	⑭－1 地区の特性を活かした歴史的景観の維持 向上

参考資料 各基本施策の評価指標 実績値の推移

【基本施策①】 人権尊重の精神を基盤とする人権教育を総合的に推進し、多様な価値観や生き方を認め合い、人権が守られる社会をつくる

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思う人の割合																						
算出方法	市民アンケート調査（まちづくり指標）で「日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思いますか」という設問に対して、『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	—	<table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>52.6</td><td>52.6</td></tr><tr><td>R3</td><td>52.3</td><td>52.3</td></tr><tr><td>R4</td><td>51.7</td><td>51.7</td></tr><tr><td>R5</td><td>57.4</td><td>57.4</td></tr><tr><td>R7</td><td>55</td><td>-</td></tr><tr><td>R12</td><td>60</td><td>-</td></tr></tbody></table>	年次	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	52.6	52.6	R3	52.3	52.3	R4	51.7	51.7	R5	57.4	57.4	R7	55	-	R12	60	-
年次	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1	52.6		52.6																				
R3	52.3	52.3																					
R4	51.7	51.7																					
R5	57.4	57.4																					
R7	55	-																					
R12	60	-																					
目指す方向性																							
進捗状況	A																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、人権啓発イベントなどに市民が参加しやすくなったと考えられる。 (Ⅱ) 基本的人権は、どのような状況においても、普遍的な価値を持つものとして、広く市民への啓発を継続する。																					

【基本施策②】 全ての子どもが心も身体も健やかに成長できる学びの場をつくる

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	小学校での1,000人当たりのいじめの認知件数	
算出方法	いじめの認知件数／倉敷市の小学校児童数×1,000	
みらい創生戦略	—	
目指す方向性		
進捗状況	B	
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	いじめの積極的な認知は、児童が安心して学校生活を送れることやいじめの重大事態の未然防止につながると考えており、学校にいじめを早期発見・早期解決することを周知し続けたことで、軽微なトラブルも積極的に認知をするようになったと考える。
	(Ⅱ)	いじめの積極的な認知をさらに進めるために、校内の情報共有を強化することや研修会の実施を継続すること、また児童へのアンケートや教育相談の充実を図りながら、いじめの早期発見に努める。

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		中学校での1,000人当たりのいじめの認知件数																																					
算出方法		いじめの認知件数／倉敷市の中学校生徒数×1,000																																					
みらい創生戦略	—	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>30</td><td>19.3</td></tr><tr><td>R2</td><td>25</td><td>18.9</td></tr><tr><td>R3</td><td>25</td><td>21.8</td></tr><tr><td>R4</td><td>28</td><td>37.9</td></tr><tr><td>R5</td><td>30</td><td>50.7</td></tr><tr><td>R6</td><td>32</td><td>30</td></tr><tr><td>R7</td><td>34</td><td></td></tr><tr><td>R8</td><td>36</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td>38</td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td>40</td><td></td></tr><tr><td>R11</td><td>40</td><td>40</td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	H30	30	19.3	R2	25	18.9	R3	25	21.8	R4	28	37.9	R5	30	50.7	R6	32	30	R7	34		R8	36		R9	38		R10	40		R11	40	40
年度	目標値			実績値																																			
H30	30			19.3																																			
R2	25	18.9																																					
R3	25	21.8																																					
R4	28	37.9																																					
R5	30	50.7																																					
R6	32	30																																					
R7	34																																						
R8	36																																						
R9	38																																						
R10	40																																						
R11	40	40																																					
目指す方向性																																							
進捗状況	A																																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	いじめの積極的な認知は、生徒が安心して学校生活を送れることやいじめの重大事態の未然防止につながると考えており、学校にいじめを早期発見・早期解決することを周知し続けたことで、軽微なトラブルも積極的に認知をするようになったと考える。																																				
		(Ⅱ)	認知しにくいSNSによる誹謗中傷等のトラブルが増加傾向にあることから、校内の情報共有を強化することや研修会の実施を継続すること、また生徒へのアンケートや教育相談の充実を図りながら、いじめの早期発見に努める。																																				

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	小学校での不登校児童出現率	
算出方法	不登校による欠席が年間30日以上の子どもの数／倉敷市の小学校児童数×100	
みらい創生戦略	—	
目指す方向性	➡	
進捗状況	C	
(I) 進捗状況の要因として考えられること (II) 今後の取組方針		(I) 学校の教室以外の場所など、自分に合った学習の場を選択する考え方が広まったことや、コロナ禍による人間関係への不安などが、児童の登校意欲の低下に繋がったと考えられる。 (II) 不登校児童に、ICTを活用したオンライン指導、また市内5か所にあるふれあい教室や各校の自立応援室での支援の充実を図ることで、一人ひとりの児童に寄り添った取組を推進する。

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	中学校での不登校生徒出現率	
算出方法	不登校による欠席が年間30日以上の子どもの数／倉敷市の中学校生徒数×100	
みらい創生戦略	—	
目指す方向性	➡	
進捗状況	C	
(I) 進捗状況の要因として考えられること (II) 今後の取組方針		(I) 学校の教室以外の場所など、自分に合った学習の場を選択する考え方が広まったことや、コロナ禍による人間関係への不安などが、生徒の登校意欲の低下に繋がったと考えられる。 (II) 不登校生徒に、ICTを活用したオンライン指導、また市内5か所にあるふれあい教室や各校の自立応援室での支援の充実を図ることで、一人ひとりの生徒に寄り添った取組を推進する。

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	困った時、悩みがある時に相談する人がいると答えた子どもの割合	
算出方法	小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「困った時、悩みがある時に相談する人がいますか」という設問に対して、『いる』と回答した小学生・中学生の数／アンケート回答者総数×100	
みらい創生戦略	—	
目指す方向性	➡	
進捗状況	B	
(I) 進捗状況の要因として考えられること (II) 今後の取組方針		(I) 教育相談の方法や児童生徒との関わり方について、研修会やパンフレットの送付等による情報提供の効果が表れてきたと考えられる。 (II) 児童生徒の悩みに寄り添えるよう、教育相談等の取組の一層の充実を図る。

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	情報モラルに関する授業・指導ができる教員の割合																																					
算出方法	文部科学省による学校における教育の情報化の実態等に関する調査より																																					
みらい創生戦略	—	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>84.3</td><td>87.6</td></tr><tr><td>R3</td><td>87.6</td><td>87.6</td></tr><tr><td>R4</td><td>90.3</td><td>90.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>92.5</td><td>92.5</td></tr><tr><td>R6</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td>90</td><td>90</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>95</td><td>90</td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	84.3	87.6	R3	87.6	87.6	R4	90.3	90.3	R5	92.5	92.5	R6			R7	90	90	R8			R9			R10			R11			R12	95	90
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																																			
R1	84.3		87.6																																			
R3	87.6	87.6																																				
R4	90.3	90.3																																				
R5	92.5	92.5																																				
R6																																						
R7	90	90																																				
R8																																						
R9																																						
R10																																						
R11																																						
R12	95	90																																				
目指す方向性																																						
進捗状況	A																																					
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に伴い、情報モラル教育の必要性が高まり、教員による指導機会が増えたと考えられる。																																				
	(Ⅱ)	情報モラルに関するデジタル教材について、時代に応じた課題に対応できるよう最新の情報に更新し、利活用の支援を継続して実施する。																																				

【基本施策③】 学校教育の充実を図る

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	授業以外で平日に 1 時間以上学習する児童の割合（小学校 6 年生）																						
算出方法	全国学力・学習状況調査における児童質問紙で「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の設問に、『3時間以上』『2時間以上、3時間より短い』『1時間以上、2時間より短い』と回答した児童の割合																						
みらい創生戦略	—	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>72.5</td><td>76.6</td></tr><tr><td>R3</td><td>76.6</td><td>76.6</td></tr><tr><td>R4</td><td>73.3</td><td>73.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>70.6</td><td>70.6</td></tr><tr><td>R7</td><td>76</td><td>76</td></tr><tr><td>R12</td><td>80</td><td>76</td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	72.5	76.6	R3	76.6	76.6	R4	73.3	73.3	R5	70.6	70.6	R7	76	76	R12	80	76
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1	72.5		76.6																				
R3	76.6	76.6																					
R4	73.3	73.3																					
R5	70.6	70.6																					
R7	76	76																					
R12	80	76																					
目指す方向性																							
進捗状況	C																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	校内研修の支援等の学校訪問において、家庭でも学習したいと思うことができる授業の在り方を十分に伝えることができていないことも、要因として考えられる。																					
	(Ⅱ)	引き続き、学力向上の取組を継続する。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	授業以外で平日に 1 時間以上学習する生徒の割合（中学校 3 年生）																						
算出方法	全国学力・学習状況調査における児童質問紙で「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」の設問に、『3時間以上』『2時間以上、3時間より短い』『1時間以上、2時間より短い』と回答した生徒の割合																						
みらい創生戦略	—	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>69.7</td><td>72.7</td></tr><tr><td>R3</td><td>72.7</td><td>72.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>63.1</td><td>63.1</td></tr><tr><td>R5</td><td>61.4</td><td>61.4</td></tr><tr><td>R7</td><td>75</td><td>75</td></tr><tr><td>R12</td><td>80</td><td>75</td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	69.7	72.7	R3	72.7	72.7	R4	63.1	63.1	R5	61.4	61.4	R7	75	75	R12	80	75
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1	69.7		72.7																				
R3	72.7	72.7																					
R4	63.1	63.1																					
R5	61.4	61.4																					
R7	75	75																					
R12	80	75																					
目指す方向性																							
進捗状況	C																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	校内研修の支援等の学校訪問において、家庭でも学習したいと思うことができる授業の在り方を十分に伝えることができていないことも、要因として考えられる。																					
	(Ⅱ)	引き続き、学力向上の取組を継続する。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	学校が楽しいと思う子どもの割合																						
算出方法	小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「学校は楽しいですか」という設問に対して、『とても楽しい』『まあまあ楽しい』と回答した小学生・中学生の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td></td><td>78</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>80.6</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>82.7</td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td>82.2</td></tr><tr><td>R7</td><td>90</td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>95</td><td></td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1		78	R3		80.6	R4		82.7	R5		82.2	R7	90		R12	95	
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1			78																				
R3		80.6																					
R4		82.7																					
R5		82.2																					
R7	90																						
R12	95																						
目指す方向性																							
進捗状況	B																						
(Ⅰ)進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ)今後の取組方針	(Ⅰ)	校内研修等の学校訪問において、児童が「楽しい」と思える授業改善や学級経営についての助言等の成果が現れていると考えられる。																					
	(Ⅱ)	児童生徒の力を伸ばす授業改善や児童生徒が主役となる特別活動等の充実を一層図る。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	「子どもの学校での教育がしっかりできている」と感じている人の割合																						
算出方法	市民アンケート調査（まちづくり指標）における属性で、小学生・中学生をもつ人で、「子どもの学校での教育がしっかりできていると感じていますか」という設問に対して、『感じている』『どちらかというと感じている』と回答した人の数／アンケート回答者のうち小学生・中学生をもつ人の総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>80</td><td>65.3</td></tr><tr><td>R3</td><td>85</td><td>70.8</td></tr><tr><td>R4</td><td>85</td><td>63.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>88</td><td>68.2</td></tr><tr><td>R7</td><td>90</td><td>80</td></tr><tr><td>R12</td><td>95</td><td>95</td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	80	65.3	R3	85	70.8	R4	85	63.3	R5	88	68.2	R7	90	80	R12	95	95
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1	80		65.3																				
R3	85		70.8																				
R4	85	63.3																					
R5	88	68.2																					
R7	90	80																					
R12	95	95																					
目指す方向性																							
進捗状況	B																						
(Ⅰ)進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ)今後の取組方針	(Ⅰ) 校内研修等の学校訪問において、児童が「楽しい」と思える授業改善の助言や支援の成果が現れていると考えられる。 (Ⅱ) 今後も児童生徒が分かった、楽しいと感じる授業改善の取組を継続していく。																						

【基本施策④】 時代の進展に対応した教育を積極的に取り入れる

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	中学校３年生で英検３級程度以上の英語力を有する生徒の割合																						
算出方法	文部科学省による「英語教育実施状況調査」より																						
みらい創生戦略	—	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td></td><td>34.4</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>35.1</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>44.6</td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td>43.6</td></tr><tr><td>R7</td><td>50</td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>60</td><td></td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1		34.4	R3		35.1	R4		44.6	R5		43.6	R7	50		R12	60	
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1			34.4																				
R3		35.1																					
R4		44.6																					
R5		43.6																					
R7	50																						
R12	60																						
目指す方向性																							
進捗状況	B																						
(Ⅰ)進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ)今後の取組方針	(Ⅰ)	学校訪問による授業支援や教員研修での説明や助言により、各学校の継続的な授業改善や研究の取組が定着してきたと考えられる。																					
	(Ⅱ)	各種研修会や授業研究会等を通して、授業の質的向上を支援していく。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	授業中にＩＣＴを活用して授業ができる教員の割合																						
算出方法	文部科学省による学校における教育の情報化の実態等に関する調査より (教員による自己評価)																						
みらい創生戦略	—	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>84.3</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>83.1</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>85.8</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td>88.5</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>100</td></tr><tr><td>R12</td><td></td><td>100</td></tr></tbody></table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	R1	84.3		R3	83.1		R4	85.8		R5	88.5		R7		100	R12		100
年度	実績値 (%)		目標値 (%)																				
R1	84.3																						
R3	83.1																						
R4	85.8																						
R5	88.5																						
R7		100																					
R12		100																					
目指す方向性																							
進捗状況	B																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ) 児童生徒１人１台端末の整備に伴い、ＩＣＴを活用した授業の機会が増加しているため。 (Ⅱ) 児童生徒の情報活用能力を育成するために、教員向けの研修を継続して行い、ＩＣＴの活用に向けた支援の充実を図る。																						

【基本施策⑤】 子どもの健康づくりを支援する

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	中学校を卒業後も自主的にスポーツをする時間をもちたいと思う中学生の割合（２年生）																						
算出方法	令和５度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の調査紙調査の結果																						
みらい創生戦略	★	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>84.5</td><td>84.5</td></tr><tr><td>R3</td><td>84.5</td><td>84.5</td></tr><tr><td>R4</td><td>82.6</td><td>82.6</td></tr><tr><td>R5</td><td>80.4</td><td>80.4</td></tr><tr><td>R7</td><td>87</td><td>-</td></tr><tr><td>R12</td><td>90</td><td>-</td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	84.5	84.5	R3	84.5	84.5	R4	82.6	82.6	R5	80.4	80.4	R7	87	-	R12	90	-
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1	84.5		84.5																				
R3	84.5	84.5																					
R4	82.6	82.6																					
R5	80.4	80.4																					
R7	87	-																					
R12	90	-																					
目指す方向性																							
進捗状況	C																						
(Ⅰ)進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ)今後の取組方針	(Ⅰ)	体を動かすことの良さや、多種多様なスポーツの楽しさを実感させられるような取組が少なかったため、スポーツに対して興味をもたせられなかった。																					
	(Ⅱ)	授業等を通して、スポーツに興味をもたせる取組を奨励していく。																					

※令和３年度から「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）」における統計の取り方が変更されたため、令和３年度の実績値を基準に目標値を再設定した。

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	学校給食調理場施設のドライ方式の割合																							
算出方法	ドライ方式給食調理場での調理食数／市内学校給食調理場の総調理食数×100																							
みらい創生戦略	—	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>49.5</td><td>49.5</td></tr><tr><td>R3</td><td>50.4</td><td>50.4</td></tr><tr><td>R4</td><td>50.9</td><td>50.9</td></tr><tr><td>R5</td><td>54.1</td><td>54.1</td></tr><tr><td>R7</td><td>66</td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>100</td><td></td></tr></tbody></table>		年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	49.5	49.5	R3	50.4	50.4	R4	50.9	50.9	R5	54.1	54.1	R7	66		R12	100	
年度	目標値 (%)			実績値 (%)																				
R1	49.5			49.5																				
R3	50.4			50.4																				
R4	50.9	50.9																						
R5	54.1	54.1																						
R7	66																							
R12	100																							
目指す方向性																								
進捗状況	B																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	大高小学校の給食調理場整備が完了したことにより増加となった。																						
	(Ⅱ)	「倉敷市学校給食調理場整備に係る基本方針」に沿って、引き続き調理場の整備を進めていく。																						

【基本施策⑥】 就学前教育の充実を図る

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	3歳児保育を実施している幼稚園の割合																																					
算出方法	公立幼稚園の園数に対する3歳児保育実施園の割合																																					
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>76.7</td><td>76.7</td></tr><tr><td>R3</td><td>78.6</td><td>78.6</td></tr><tr><td>R4</td><td>80.5</td><td>80.5</td></tr><tr><td>R5</td><td>84.2</td><td>84.2</td></tr><tr><td>R6</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>88.4</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>100</td><td>100</td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R2	76.7	76.7	R3	78.6	78.6	R4	80.5	80.5	R5	84.2	84.2	R6			R7		88.4	R8			R9			R10			R11			R12	100	100
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																																			
R2	76.7		76.7																																			
R3	78.6	78.6																																				
R4	80.5	80.5																																				
R5	84.2	84.2																																				
R6																																						
R7		88.4																																				
R8																																						
R9																																						
R10																																						
R11																																						
R12	100	100																																				
目指す方向性	➡																																					
進捗状況	A																																					
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	令和5年度の適正配置計画に伴い、総園数が減少したため。																																				
	(Ⅱ)	今後も、保護者のニーズや集団規模の適正化の観点から適正配置計画を進め、公立幼稚園の統合等に取り組み、3歳児保育の充実を目指していく。																																				

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	預かり保育を実施している幼稚園の割合																																					
算出方法	公立幼稚園の園数に対する預かり保育実施園の割合																																					
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>53.5</td><td>53.5</td></tr><tr><td>R3</td><td>54.8</td><td>54.8</td></tr><tr><td>R4</td><td>56.1</td><td>56.1</td></tr><tr><td>R5</td><td>60.5</td><td>60.5</td></tr><tr><td>R6</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>76.7</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>100</td><td>100</td></tr></tbody></table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R2	53.5	53.5	R3	54.8	54.8	R4	56.1	56.1	R5	60.5	60.5	R6			R7		76.7	R8			R9			R10			R11			R12	100	100
年度	目標値 (%)		実績値 (%)																																			
R2	53.5		53.5																																			
R3	54.8	54.8																																				
R4	56.1	56.1																																				
R5	60.5	60.5																																				
R6																																						
R7		76.7																																				
R8																																						
R9																																						
R10																																						
R11																																						
R12	100	100																																				
目指す方向性	➡																																					
進捗状況	B																																					
(Ⅰ)進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ)今後の取組方針	(Ⅰ)	令和5年度の適正配置計画に伴い、預かり保育実施園数は同数であるが、総園数が減少したため。																																				
	(Ⅱ)	今後も、職員の確保に取り組むとともに、公立幼稚園の魅力の一つとしての預かり保育の充実を図っていく。																																				

【基本施策⑦】 障がいのある子どもが、適切な教育や保育が受けられる体制を整える

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		特別支援教育について理解が進んでいると思う人の割合																																								
算出方法		市民アンケート調査（まちづくり指標）における属性で、小学生・中学生がいる人で、「障がいのある幼児児童生徒を指導・支援する特別支援教育について知っていますか」という設問に対して『知っている』と回答した人の数／アンケート回答者のうち小学生・中学生がいる人の総数×100																																								
みらい創生戦略	—	<table><caption>特別支援教育に関する理解の進捗率推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>60.4</td><td>60.4</td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>60.7</td><td>60.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>61.1</td><td>61.1</td></tr><tr><td>R5</td><td>67.1</td><td>67.1</td></tr><tr><td>R6</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>R8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R10</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R11</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>80</td><td>80</td></tr></tbody></table>		年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	60.4	60.4	R2			R3	60.7	60.7	R4	61.1	61.1	R5	67.1	67.1	R6			R7	70	70	R8			R9			R10			R11			R12	80	80
年度	目標値 (%)			実績値 (%)																																						
R1	60.4			60.4																																						
R2																																										
R3	60.7	60.7																																								
R4	61.1	61.1																																								
R5	67.1	67.1																																								
R6																																										
R7	70	70																																								
R8																																										
R9																																										
R10																																										
R11																																										
R12	80	80																																								
目指す方向性																																										
進捗状況	A																																									
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	特別支援教育に考え方や授業の在り方、児童生徒への声の掛け方等、通常学級における、特別支援教育に関する理解が進んできたと考える。																																								
	(Ⅱ)	学校の取組が継続していけるよう、研修を今後も継続していく。																																								

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	特別支援教育・特別支援保育に関する学習会・研修会等への教職員や保育職員の参加者数																						
算出方法	特別支援教育に関する学習会・研修会へ参加した教職員、特別支援保育研修会に参加した保育職員の数																						
みらい創生戦略	—	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>2,000</td><td>1,969</td></tr><tr><td>R3</td><td>2,000</td><td>2,038</td></tr><tr><td>R4</td><td>2,000</td><td>1,946</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,000</td><td>2,188</td></tr><tr><td>R7</td><td>2,000</td><td>2,050</td></tr><tr><td>R12</td><td>2,150</td><td>2,150</td></tr></tbody></table>	年度	目標値	実績値	R1	2,000	1,969	R3	2,000	2,038	R4	2,000	1,946	R5	2,000	2,188	R7	2,000	2,050	R12	2,150	2,150
年度	目標値		実績値																				
R1	2,000		1,969																				
R3	2,000	2,038																					
R4	2,000	1,946																					
R5	2,000	2,188																					
R7	2,000	2,050																					
R12	2,150	2,150																					
目指す方向性																							
進捗状況	A																						
(Ⅰ)進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ)今後の取組方針	(Ⅰ)	教員研修会や学校訪問において、特別支援教育の重要性や必要性を伝えてきたことから、特別支援児保育や特別支援教育に対する理解が深まり、積極的な研修への参加が見られたと考える。																					
	(Ⅱ)	研修の継続・内容の検討を進めていく。																					

【基本施策⑧】 子どもたちが緑や生き物などの自然にふれながら、学べる機会を提供する

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数																						
算出方法		自然の家の利用者（乳幼児・小中学生）、自然史博物館主催の自然観察会や講座、冒険遊び場、水辺教室、海辺教室、こどもエコライフチャレンジ、環境学習センター主催の講座への参加児童生徒数																						
みらい創生戦略	—	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>11,533</td><td>11,533</td></tr><tr><td>R3</td><td>11,533</td><td>1,122</td></tr><tr><td>R4</td><td>11,533</td><td>14,535</td></tr><tr><td>R5</td><td>11,533</td><td>16,209</td></tr><tr><td>R7</td><td>11,533</td><td>14,500</td></tr><tr><td>R12</td><td>18,000</td><td>18,000</td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	R1	11,533	11,533	R3	11,533	1,122	R4	11,533	14,535	R5	11,533	16,209	R7	11,533	14,500	R12	18,000	18,000
年度	目標値			実績値																				
R1	11,533			11,533																				
R3	11,533	1,122																						
R4	11,533	14,535																						
R5	11,533	16,209																						
R7	11,533	14,500																						
R12	18,000	18,000																						
目指す方向性																								
進捗状況	A																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	令和４年にリニューアルオープンした自然の家が利用者から好評を得ており、催事やキャンプ等の利用実績も増加傾向にあるため、全体の実績値も増加した。																					
		(Ⅱ)	様々なニーズへの対応を図りながら、継続して実施する。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		自然の中で遊ぶことが楽しいと思っている子どもの割合																						
算出方法		小学生・中学生の児童生徒対象のアンケート調査で、「自然の中で遊ぶことを楽しいと思いますか」という設問に対して、『とてもそう思う』『そう思う』と回答した小学生・中学生の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	—	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>84.4</td><td>84.4</td></tr><tr><td>R3</td><td>84.4</td><td>84.6</td></tr><tr><td>R4</td><td>84.4</td><td>85.5</td></tr><tr><td>R5</td><td>84.4</td><td>84.0</td></tr><tr><td>R7</td><td>84.4</td><td>86</td></tr><tr><td>R12</td><td>88</td><td>88</td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	R1	84.4	84.4	R3	84.4	84.6	R4	84.4	85.5	R5	84.4	84.0	R7	84.4	86	R12	88	88
年度	目標値			実績値																				
R1	84.4			84.4																				
R3	84.4	84.6																						
R4	84.4	85.5																						
R5	84.4	84.0																						
R7	84.4	86																						
R12	88	88																						
目指す方向性																								
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	目標値に近い実績はあるものの、インターネットやゲーム等、児童生徒にとって興味を持つ対象が多様化している中で、現在行っているイベントや広報等では大きく実績を伸ばすことが出来なかった。																					
		(Ⅱ)	様々なニーズへの対応を図りながら、継続して実施する。																					

【基本施策⑨】 一人一人が生涯を通して行う学びを支援するとともに、その学びによる地域の活性化を推進する

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		自分が参加したいと思う講座や活動があると思う人の割合																						
算出方法		市民アンケート調査（まちづくり指標）で、「公民館やライフパーク倉敷などに自分が参加したいと思う講座や活動がありますか」という設問に対して、『十分ある』『まあまあある』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	—	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>31.4</td><td>19.4</td></tr><tr><td>R3</td><td>20</td><td>18.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>20</td><td>18.7</td></tr><tr><td>R5</td><td>20</td><td>18.7</td></tr><tr><td>R7</td><td>41</td><td>41</td></tr><tr><td>R12</td><td>51</td><td>41</td></tr></tbody></table>		年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	31.4	19.4	R3	20	18.7	R4	20	18.7	R5	20	18.7	R7	41	41	R12	51	41
年度	目標値 (%)			実績値 (%)																				
R1	31.4			19.4																				
R3	20	18.7																						
R4	20	18.7																						
R5	20	18.7																						
R7	41	41																						
R12	51	41																						
目指す方向性																								
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	アンケート調査結果では「分からない」の回答割合が高く（約4割）、どのような講座・活動が行われているか、十分な周知ができていないと考えられる。																					
		(Ⅱ)	紙媒体の広報誌（学習へのいざない、ライフパークEyEなど）に加え、ホームページや倉敷市公式アプリ、SNSなどを活用しての情報発信に努めるとともに、積極的に市民ニーズの把握に努め魅力ある講座企画に取り組む。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		公民館、図書館で開催される生涯学習講座への参加者数																						
算出方法		市民学習センター、公民館、図書館で開催される生涯学習講座受講者数																						
みらい創生戦略	—	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>28,565</td><td>28,565</td></tr><tr><td>R3</td><td>25,000</td><td>14,689</td></tr><tr><td>R4</td><td>25,000</td><td>21,576</td></tr><tr><td>R5</td><td>25,000</td><td>25,504</td></tr><tr><td>R7</td><td>39,000</td><td>39,000</td></tr><tr><td>R12</td><td>50,000</td><td>39,000</td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	R1	28,565	28,565	R3	25,000	14,689	R4	25,000	21,576	R5	25,000	25,504	R7	39,000	39,000	R12	50,000	39,000
年度	目標値			実績値																				
R1	28,565			28,565																				
R3	25,000	14,689																						
R4	25,000	21,576																						
R5	25,000	25,504																						
R7	39,000	39,000																						
R12	50,000	39,000																						
目指す方向性																								
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	趣味や生きがいづくりの一般教養のほかに、防災や環境などの地域課題に関するテーマの講座にも取り組んでいるが、興味関心を持ってもらえるような企画にすることができなかったと考えられる。																					
		(Ⅱ)	地域課題に関するテーマについては、座学のみでなく、ワークショップや体験型の手法も織り交ぜ、魅力ある講座企画及び情報発信に取り組む。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		市民 1 人当たりの市立図書館の貸出数																						
算出方法		図書の年間貸出点数／市の人口 ※図書（視聴覚・雑誌を含む）の年間貸出点数（団体を含む）とは、中央・水島・児島・玉島・船穂・真備の図書館、移動図書館、公民館図書室、ライフパーク倉敷図書室の総貸出点数																						
みらい創生戦略	—	<table><caption>市民 1 人当たりの市立図書館の貸出数 (点)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>5.9</td><td>5.1</td></tr><tr><td>R3</td><td>5.4</td><td>5.3</td></tr><tr><td>R4</td><td>5.4</td><td>5.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>5.3</td><td>5.3</td></tr><tr><td>R7</td><td>6.2</td><td>6.2</td></tr><tr><td>R12</td><td>6.5</td><td>6.2</td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	R1	5.9	5.1	R3	5.4	5.3	R4	5.4	5.3	R5	5.3	5.3	R7	6.2	6.2	R12	6.5	6.2
年度	目標値			実績値																				
R1	5.9			5.1																				
R3	5.4	5.3																						
R4	5.4	5.3																						
R5	5.3	5.3																						
R7	6.2	6.2																						
R12	6.5	6.2																						
目指す方向性																								
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	多彩な展示や行事を企画することにより、来館者数は増加している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限の解除に伴い閲覧席の時間制限を緩和したことにより、館内での読書を楽しむ人は増えてきている。一方、近年、電子書籍やオーディオブックが普及しており、それらへの対応が進んでいないことから、貸出数は昨年度より減少したと思われる。																						
	(Ⅱ)	来館者数は増加傾向にある。今後も、子ども読書活動推進事業や、児童生徒の探求学習、大人のリスニングに関する資料の充実、及び、子育て支援コーナーの整備に努め、貸出点数の増加につなげていく。																						

【基本施策⑩】 安心して子育てできる環境を整える

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	身近に子育ての相談ができるところがあると思っている人の割合【（１）就学前児童の保護者】																						
算出方法	就学前児童をもつ保護者へのアンケート調査（倉敷子ども未来プランアンケート）で、「身近に子育ての相談ができるところがありますか」という設問に対して『ある』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>地域</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>79.9</td><td>79.9</td></tr><tr><td>R3</td><td>79.5</td><td>79.5</td></tr><tr><td>R4</td><td>76.6</td><td>76.6</td></tr><tr><td>R5</td><td>76.4</td><td>76.4</td></tr><tr><td>R7</td><td>82</td><td>82</td></tr><tr><td>R12</td><td>85</td><td>85</td></tr></tbody></table>	地域	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	79.9	79.9	R3	79.5	79.5	R4	76.6	76.6	R5	76.4	76.4	R7	82	82	R12	85	85
地域	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1	79.9		79.9																				
R3	79.5	79.5																					
R4	76.6	76.6																					
R5	76.4	76.4																					
R7	82	82																					
R12	85	85																					
目指す方向性	➡																						
進捗状況	C																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	対面による相談場所の周知が不十分であることや、SNS等を利用した相談の増加により、対面での相談の必要性が下がってきていることが考えられる。																					
	(Ⅱ)	子育てに関する情報発信、子育ての相談体制を継続して充実させていく。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	身近に子育ての相談ができるところがあると思っている人の割合【（２）小学生の保護者】																						
算出方法	小学生をもつ保護者へのアンケート調査（倉敷子ども未来プランアンケート）で、「身近に子育ての相談ができるところがありますか」という設問に対して『ある』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>地域</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>66.6</td><td>66.6</td></tr><tr><td>R3</td><td>64.0</td><td>64.0</td></tr><tr><td>R4</td><td>67.2</td><td>67.2</td></tr><tr><td>R5</td><td>63.7</td><td>63.7</td></tr><tr><td>R7</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>R12</td><td>75</td><td>75</td></tr></tbody></table>	地域	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	66.6	66.6	R3	64.0	64.0	R4	67.2	67.2	R5	63.7	63.7	R7	70	70	R12	75	75
地域	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1	66.6		66.6																				
R3	64.0	64.0																					
R4	67.2	67.2																					
R5	63.7	63.7																					
R7	70	70																					
R12	75	75																					
目指す方向性	➡																						
進捗状況	C																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	対面による相談場所の周知が不十分であることや、SNS等を利用した相談の増加により、対面での相談の必要性が下がってきていることが考えられる。																					
	(Ⅱ)	子育てに関する情報発信、子育ての相談体制を継続して充実させていく。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		子育てを家族で協力して行っている人の割合【（１）就学前児童の保護者】																						
算出方法		就学前児童をもつ保護者へのアンケート調査（倉敷子ども未来プランアンケート）で、「家族で協力して子育てをしていますか」という設問に対して、『十分協力している』『まあまあ協力している』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>地域</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>89.5</td><td>89.5</td></tr><tr><td>R3</td><td>90.0</td><td>90.0</td></tr><tr><td>R4</td><td>89.1</td><td>89.1</td></tr><tr><td>R5</td><td>88.0</td><td>88.0</td></tr><tr><td>R7</td><td>92</td><td>92</td></tr><tr><td>R12</td><td>95</td><td>95</td></tr></tbody></table>		地域	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	89.5	89.5	R3	90.0	90.0	R4	89.1	89.1	R5	88.0	88.0	R7	92	92	R12	95	95
地域	目標値 (%)			実績値 (%)																				
R1	89.5			89.5																				
R3	90.0	90.0																						
R4	89.1	89.1																						
R5	88.0	88.0																						
R7	92	92																						
R12	95	95																						
目指す方向性																								
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	ワークライフバランスの気運は醸成されてきているが、様々な制限が解除されたことによる生活の変化も要因として考えられる。																					
		(Ⅱ)	子どもが生まれた早期の段階に、家族が協力して子育てをすることの大切さを継続して啓発していく。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）	子育てを家族で協力して行っている人の割合【（2）小学生の保護者】																						
算出方法	小学生をもつ保護者へのアンケート調査（倉敷子ども未来プランアンケート）で、「家族で協力して子育てをしていますか」という設問に対して、『十分協力している』『まあまあ協力している』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年次</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>82.4</td><td>82.4</td></tr><tr><td>R3</td><td>84.8</td><td>84.8</td></tr><tr><td>R4</td><td>80.2</td><td>80.2</td></tr><tr><td>R5</td><td>82.3</td><td>82.3</td></tr><tr><td>R7</td><td>92</td><td>92</td></tr><tr><td>R12</td><td>98</td><td>98</td></tr></tbody></table>	年次	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	82.4	82.4	R3	84.8	84.8	R4	80.2	80.2	R5	82.3	82.3	R7	92	92	R12	98	98
年次	目標値 (%)		実績値 (%)																				
R1	82.4		82.4																				
R3	84.8	84.8																					
R4	80.2	80.2																					
R5	82.3	82.3																					
R7	92	92																					
R12	98	98																					
目指す方向性	➡																						
進捗状況	C																						
(Ⅰ)進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ)今後の取組方針	(Ⅰ) 目標値には達していないが、ワークライフバランスの気運が醸成されてきていると考えられる。 (Ⅱ) 親育ち支援のための講演会や講座の内容を工夫し、世代に合わせて、家族が協力して子育てをすることの大切さを継続して啓発していく。																						

【基本施策⑪】 学校、地域、家庭が連携し、地域全体で子どもたちを育む環境を整える

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		地域の人に支えてもらって子育てをしていると思う人の割合【（１）就学前児童の保護者】																						
算出方法		就学前児童をもつ保護者へのアンケート調査（倉敷子ども未来プランアンケート）で、「地域の人に支えてもらって子育てをしていると思いますか」という設問に対して『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年次</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>44.7</td><td>44.7</td></tr><tr><td>R3</td><td>40.2</td><td>40.2</td></tr><tr><td>R4</td><td>36.1</td><td>36.1</td></tr><tr><td>R5</td><td>35.4</td><td>35.4</td></tr><tr><td>R7</td><td>47</td><td>47</td></tr><tr><td>R12</td><td>50</td><td>50</td></tr></tbody></table>		年次	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	44.7	44.7	R3	40.2	40.2	R4	36.1	36.1	R5	35.4	35.4	R7	47	47	R12	50	50
年次	目標値 (%)			実績値 (%)																				
R1	44.7			44.7																				
R3	40.2	40.2																						
R4	36.1	36.1																						
R5	35.4	35.4																						
R7	47	47																						
R12	50	50																						
目指す方向性																								
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	共働き世帯やひとり親世帯、核家族の増加等に加え、町内会等の地域コミュニティが高齢化してきており、地域のつながりが希薄化してきていることが考えられる。																					
		(Ⅱ)	福祉や教育、地域が協働し、地域の子育て力を高め、総合的な支援体制の充実を図っていく。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		地域の人に支えてもらって子育てをしていると思う人の割合【（2）小学生の保護者】																						
算出方法		小学生をもつ保護者へのアンケート調査（倉敷子ども未来プランアンケート）で、「地域の人に支えてもらって子育てをしていると思いますか」という設問に対して『そう思う』『どちらかというと思う』と回答した人の数÷アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年次</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>50</td><td>50</td></tr><tr><td>R3</td><td>47.1</td><td>47.1</td></tr><tr><td>R4</td><td>46</td><td>46</td></tr><tr><td>R5</td><td>43.7</td><td>43.7</td></tr><tr><td>R7</td><td>55</td><td>55</td></tr><tr><td>R12</td><td>60</td><td>60</td></tr></tbody></table>		年次	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	50	50	R3	47.1	47.1	R4	46	46	R5	43.7	43.7	R7	55	55	R12	60	60
年次	目標値 (%)			実績値 (%)																				
R1	50			50																				
R3	47.1	47.1																						
R4	46	46																						
R5	43.7	43.7																						
R7	55	55																						
R12	60	60																						
目指す方向性																								
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	共働き世帯やひとり親世帯、核家族の増加等に加え、町内会等の地域コミュニティが高齢化してきており、地域のつながりが希薄化してきていることが考えられる。																					
		(Ⅱ)	福祉や教育、地域が協働し、地域の子育て力を高め、総合的な支援体制の充実を図っていく。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		学校・家庭・地域が連携した事業に参加した子どもの数																						
算出方法		放課後子ども教室へ参加した子どもの数																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>269,474</td><td>269,474</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>148,591</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>144,824</td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td>183,879</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>286,000</td></tr><tr><td>R12</td><td>300,000</td><td>300,000</td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	R1	269,474	269,474	R3		148,591	R4		144,824	R5		183,879	R7		286,000	R12	300,000	300,000
年度	目標値			実績値																				
R1	269,474			269,474																				
R3		148,591																						
R4		144,824																						
R5		183,879																						
R7		286,000																						
R12	300,000	300,000																						
目指す方向性	➡																							
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	前年度に比べ、参加人数は増加しているが、子ども教室の開催に必要なボランティア数の減少とともに、子ども教室の規模を縮小したため、目標値に届かなかった。																					
		(Ⅱ)	参加者数増加に向けて、子ども教室の開催数や内容を充実させるためのプログラム研修や、開催に必要なボランティアを確保するための啓発活動を行なっていく。																					

【基本施策⑫】 文化芸術活動を振興する

倉敷市教育振興基本計画 評価指標	市立美術館の利用者数																						
算出方法	市立美術館の利用者総数（貸施設利用者数を含む）																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>80,089</td><td>80,089</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>32,929</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>85,845</td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td>81,664</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>90,000</td></tr><tr><td>R12</td><td>100,000</td><td>100,000</td></tr></tbody></table>	年度	目標値	実績値	R1	80,089	80,089	R3		32,929	R4		85,845	R5		81,664	R7		90,000	R12	100,000	100,000
年度	目標値		実績値																				
R1	80,089		80,089																				
R3			32,929																				
R4		85,845																					
R5		81,664																					
R7		90,000																					
R12	100,000	100,000																					
目指す方向性	➡																						
進捗状況	B																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針	(Ⅰ)	特別展の開催回数が令和4年度は2回であったが令和5年度は1回になり、展覧会事業の観覧者数が減少したことが、利用者数減少の要因と考えられる。																					
	(Ⅱ)	より多くの方々に利用していただけるよう事業を拡大、継続していく。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		文化施設の利用者数																						
算出方法		倉敷市民会館、芸文館、児島文化センター、玉島文化センター、マービーふれあいセンターの利用者総数																						
みらい創生戦略	★	<table><caption>文化施設利用者総数（人）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>450,793</td><td>450,793</td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>215,818</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td>389,073</td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td>432,707</td></tr><tr><td>R7</td><td></td><td>645,000</td></tr><tr><td>R12</td><td>690,000</td><td>690,000</td></tr></tbody></table>		年度	目標値	実績値	R1	450,793	450,793	R3		215,818	R4		389,073	R5		432,707	R7		645,000	R12	690,000	690,000
年度	目標値			実績値																				
R1	450,793			450,793																				
R3		215,818																						
R4		389,073																						
R5		432,707																						
R7		645,000																						
R12	690,000	690,000																						
目指す方向性	➡																							
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限が解除され、以前の水準に戻りつつある。																					
		(Ⅱ)	ウィズコロナを意識し、感染症対策を行いながら、事業の継続・拡大を進めていく。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		生活の中で文化的活動（鑑賞と実践のどちらでも可）を行っている人の割合																						
算出方法		市民アンケート調査（まちづくり指標）で、「生活の中で文化的活動（鑑賞と実践のどちらでも可）」を行っていますか」という設問に対して、『よく行っている』『ときどき行っている』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>30.5</td><td>30.5</td></tr><tr><td>R3</td><td>26.4</td><td>26.4</td></tr><tr><td>R4</td><td>26.7</td><td>26.7</td></tr><tr><td>R5</td><td>28.5</td><td>28.5</td></tr><tr><td>R7</td><td>40</td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>50</td><td></td></tr></tbody></table>		年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	30.5	30.5	R3	26.4	26.4	R4	26.7	26.7	R5	28.5	28.5	R7	40		R12	50	
年度	目標値 (%)			実績値 (%)																				
R1	30.5			30.5																				
R3	26.4	26.4																						
R4	26.7	26.7																						
R5	28.5	28.5																						
R7	40																							
R12	50																							
目指す方向性	➡																							
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限が解除され、以前の水準に戻りつつある。																					
		(Ⅱ)	ウィズコロナを意識し、感染症対策を行いながら、文化活動を促す事業の継続・拡大を行う。																					

【基本施策⑬】 歴史文化や伝統の保存・継承と活用を図る

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがある人の割合																						
算出方法		就学前児童をもつ保護者、小学生をもつ保護者へのアンケート調査（倉敷子ども未来プランアンケート）で、「子どもと一緒に地域の伝統行事に参加したことがありますか」という設問に対して『ある』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>65.3</td><td>65.3</td></tr><tr><td>R3</td><td>50.2</td><td>50.2</td></tr><tr><td>R4</td><td>51.9</td><td>51.9</td></tr><tr><td>R5</td><td>56.0</td><td>56.0</td></tr><tr><td>R7</td><td>73</td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>80</td><td></td></tr></tbody></table>		年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	65.3	65.3	R3	50.2	50.2	R4	51.9	51.9	R5	56.0	56.0	R7	73		R12	80	
年度	目標値 (%)			実績値 (%)																				
R1	65.3			65.3																				
R3	50.2	50.2																						
R4	51.9	51.9																						
R5	56.0	56.0																						
R7	73																							
R12	80																							
目指す方向性																								
進捗状況	C																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限が解除され、以前の水準に戻りつつある。																					
		(Ⅱ)	新型コロナウイルス感染症などの社会状況を踏まえつつ、継続して目標値達成を目指す。																					

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		後世に伝えたい歴史文化や伝統が継承されていると思っている人の割合																						
算出方法		市民アンケート調査（まちづくり指標）で、「後世に伝えたいと思う歴史文化や伝統が継承されていると思いますか」という設問に対して、『継承されていると思う』『いくらか継承されていると思う』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略	★	<table><thead><tr><th>年度</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>57.8</td><td>57.8</td></tr><tr><td>R3</td><td>58.6</td><td>58.6</td></tr><tr><td>R4</td><td>58.7</td><td>58.7</td></tr><tr><td>R5</td><td>62.3</td><td>62.3</td></tr><tr><td>R7</td><td>62</td><td></td></tr><tr><td>R12</td><td>67</td><td></td></tr></tbody></table>		年度	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	57.8	57.8	R3	58.6	58.6	R4	58.7	58.7	R5	62.3	62.3	R7	62		R12	67	
	年度			目標値 (%)	実績値 (%)																			
	R1			57.8	57.8																			
R3	58.6	58.6																						
R4	58.7	58.7																						
R5	62.3	62.3																						
R7	62																							
R12	67																							
目指す方向性	➡																							
進捗状況	A																							
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ) 文化財や史跡公園等の適切な保存と利用しやすい環境の維持を行い、また、各種講座へ講師として職員を派遣するなど、文化財の保護意識の醸成を図っているため。 (Ⅱ) 今後も引き続き、貴重な文化財の保存修理や史跡等の環境整備や文化財の保護思想の普及に努め、文化財の保存と活用及び継承に取り組む。																						

【基本施策⑭】 歴史的・魅力的な景観の形成を推進し、受け継いでいく

倉敷市教育振興基本計画 評価指標（総合計画 指標）		歴史的・魅力的な景観が保全されていると感じている人の割合																						
算出方法		市民アンケート調査（まちづくり指標）で、「市内では、歴史的・魅力的な景観が保全されていると感じていますか」という設問に対して、『感じている』と回答した人の数／アンケート回答者総数×100																						
みらい創生戦略		★	<table><thead><tr><th>地域</th><th>目標値 (%)</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>48.8</td><td>48.8</td></tr><tr><td>R3</td><td>48.8</td><td>42.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>48.8</td><td>45.6</td></tr><tr><td>R5</td><td>48.8</td><td>45.8</td></tr><tr><td>R7</td><td>53</td><td>53</td></tr><tr><td>R12</td><td>58</td><td>58</td></tr></tbody></table>	地域	目標値 (%)	実績値 (%)	R1	48.8	48.8	R3	48.8	42.7	R4	48.8	45.6	R5	48.8	45.8	R7	53	53	R12	58	58
地域	目標値 (%)	実績値 (%)																						
R1	48.8	48.8																						
R3	48.8	42.7																						
R4	48.8	45.6																						
R5	48.8	45.8																						
R7	53	53																						
R12	58	58																						
目指す方向性		➡																						
進捗状況		C																						
(Ⅰ) 進捗状況の要因として考えられること (Ⅱ) 今後の取組方針		(Ⅰ)	伝統的な建物の修理や歴史的景観の維持などの取組について、情報発信が充分ではなかったため。																					
		(Ⅱ)	今後も引き続き、伝統的建造物群保存地区などの歴史的景観を維持するために、修理等の取組に対する支援を行っていくとともに、情報発信を図る。																					

令和5年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書より